# VELXUS500

# セットアップマニュアル

## ご注意

⑴ 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
⑵ 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
⑶ 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
⑷ 運用した結果については、⑶項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
⑸ ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
⑹ 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアッセンブリを禁じます。
⑺ カノープス、CANOPUS/ カノープス、ProCoder、ADVC、EDIUS およびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
⑻ Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
⑼ QuickTime は、米国 Apple Computer,Inc. の登録商標です。
⑽ Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Photoshop、Adobe Premiere Pro、After Effect は、Adobe Systems Incorporated-（アドビシステムズ社）の商標です。
⑾ Intel、Pentium、Xeon は、米国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
⑿ HDV および、HDV ロゴはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
⒀ その他、商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

## 表記について

■ 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイルも必ずお読みください。
■ 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
■ 本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。
■ 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同様に行ってください。
■ 本書では、EDIUS Pro version 4 や EDIUS シリーズを「EDIUS」と表記します。
■ 本書では、Microsoft® Windows® XP Professional operating system を Windows XP Professional、または Windows XP と表記します。Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system を Windows XP Home Edition、または Windows XP と表記します。
■ 本書では、Adobe Photoshop を Photoshop、Adobe Premiere Pro を Premiere Pro、Adobe After Effects を After Effects と表記します。

# ご使用の前に

## ■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。

**注意**

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。

## ■絵表示の意味

この記号はしてはいけないことを表しています。

この記号はしなければならないことを表しています。

この記号は気をつける必要があることを表しています。

## ■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。

### 警告

●健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。

●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合、必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま、製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かずにパソコン本体や周辺機器の筐体（電源ユニットなど）、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。

●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください（体内の静電気を放電することになります）。

## 注意

●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えていないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。
消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧いただくか、メーカーに直接お問い合わせいただいてお確かめください。

●他社製品と併用されるときの注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境で購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によって購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。

●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。
製品を取り扱うときは､手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。
動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手を触れる際には、十分にご注意ください。

VELXUS 500
セットアップマニュアル
August 4, 2006

# 目　次

Summary
## 概　要



Chapter 1
## セットアップ



Chapter 2
## EDIUS の使用

Chapter 3

## Premiere Pro Plug-in



Chapter 4

## Video-Out プラグイン



Chapter 5

## ADVC Mode Controller



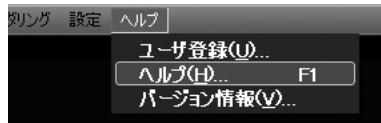
APPENDIX

## 付　録

# 概　要

# 1 マニュアルについて

## 付属マニュアルの構成

| | |
|---|---|
| EDIUS ユーザーズガイド | EDIUS を使用したビデオ編集の流れ。<br>EDIUS の機能紹介。 |
| リファレンスマニュアル | EDIUS の操作手順。 |
| ヘルプ | EDIUS の操作設定画面の解説。<br>EDIUS から起動するアプリケーションソフトの解説。<br>ダリング　設定　ヘルプ<br>ユーザ登録(U)...<br>ヘルプ(H)...　F1<br>バージョン情報(V)...<br>※ EDIUS を起動し、メニューバーから表示するヘルプとなります。 |
| VELXUS 500 セットアップマニュアル（本書） | セットアップ。<br>EDIUS の使用について。<br>プラグインの使用について。<br>※本製品に特化した機能については本書で説明しています。その他の機能については別冊のマニュアルをご覧ください。 |

# 2 ご確認

## ご使用の前に

### 使用許諾契約

本製品をご利用いただくには、この使用許諾契約の内容にご同意いただく必要があります。ソフトウェアのセットアップ時に表示される使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がありましたら、インストールを中止して、下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。
このソフトウェア使用許諾契約は、お客様がインストールを完了された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

### カノープスカスタマーサポート

〒 651-2241　神戸市西区室谷 1-2-2
カノープス株式会社　カスタマーサポート宛

### ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
製品本体の使用目的および当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。
本製品を使用して、第三者の著作物を録音・録画する場合、特定の場合を除き著作権の侵害となる場合があります。本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。著作権侵害の可能性は、使用環境によって異なりますので、事前にお客様の顧問弁護士に確認されることをお勧めいたします。

## サポートについて

本製品のユーザーサポートは登録ユーザー様を対象としております。サポートをお受けいただくために、ユーザー登録を必ず行ってください。ご登録されていない場合は、ユーザーサポートをお受けいただけません。

同梱されている各製品の保証（サポート）期間は次のとおりです。

- ハードウェア（一部接続ケーブル等を除く）保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- EDIUS（当社製アプリケーションソフトウェア）無償サポートは、ユーザー登録完了後のお問い合わせ時にサポート開始の同意を得られた後より90日間となります。

※ 91日以降の有償サポートの形態については、「重要・ソフトウェアサポートについてのお知らせ」、もしくは当社ホームページをご覧ください。

**ご注意**

- サポートについてのお知らせは、EDIUS version 4 Installation CDの［Manual］→［JP］フォルダに収録されています。
- ソフトウェアについて
「重要・サポートについてのお知らせ4.2.pdf」、「重要・ソフトウェアサポートについてのお知らせV1.2.pdf」をご覧になるには、Adobe Readerが必要です。お使いのPCにAdobe Readerがインストールされていない場合は、EDIUS version 4 Installation CDを開き、［Tools］→［Acrobat］フォルダから、［AdbeRdr707_ja_JP.exe］を実行してください。Adobe Readerがインストールされます。

## 当社ホームページ

本製品をはじめとする当社最新情報をホームページ（http://www.canopus.co.jp）にて発信しています。最新のドライバ、ユーティリティ、アプリケーション、製品マニュアル（PDF形式）、FAQなどを公開していますので、当社ホームページにぜひアクセスいただき快適なビデオ編集環境を実現してください。

## 個人情報の取扱いについて

当社では、原則として①ご記入いただいたお客様の個人情報は下記の目的以外では使用せず、②下記以外の目的で使用する場合は事前に当該サービス上にてお知らせします。
当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特段の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはございません。

(1) ご利用の当社製品のサポートの実施
(2) 当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施
　※ 調査結果を当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがありますが、匿名性を確保した状態で提供します。
(3) 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認
(4) ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内などの情報提供
(5) 懸賞企画などで当選された方やお客様への賞品の発送
　※ お客様の個人情報の取扱いに関するご意見、お問合せは http://www.canopus.co.jp/info/ までご連絡ください。

## 製品のお問い合わせ窓口について

ご使用方法や、このマニュアルについて不明な点、疑問点などがございましたらカノープス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
お問い合わせの前には必ず以下の内容をご準備の上、お問い合わせください。

⑴ ご使用になっておられるPCの名称型番
　メーカー製の場合　：メーカー名と型番
　自作、オーダーメイドの場合：マザーボード型番、CPU、チップセット、サウンドボード、グラフィックボード
⑵ オペレーティングシステム（Windowsなど）のバージョン
⑶ ハードディスクの容量、メモリの容量
⑷ 他に取り付けられている拡張ボードのメーカー名と製品名
⑸ 周辺機器があればそのメーカー名と製品名
⑹ 他に併用している当社製品があれば製品名とバージョン番号

本製品のお問い合わせは、下記の窓口にて受け付けております。電話番号は、お間違えのないようにおかけください。

### テクニカルサポート窓口　TEL 078-992-9940

製品の使用方法など技術的相談に関するご質問承り窓口です。
〒651-2241　神戸市西区室谷1-2-2
カノープス株式会社　テクニカルサポート宛
10:00～12:00／13:00～17:00
（土日祝日、当社指定休日は除く）

### テクニカルメールサポート

テクニカルメールサポートにつきましては、製品をご登録いただきました後にメールにて窓口をご案内させていただきます。

### カスタマーサポート窓口　TEL 078-992-5846

ユーザー登録のご確認や保守部品に関するご質問承り窓口です。
〒651-2241　神戸市西区室谷1-2-2
カノープス株式会社　カスタマーサポート宛
10:00～12:00／13:00～17:00
（土日祝日、当社指定休日は除く）

### カスタマーメールサポート

http://www.canopus.co.jp/info/

### サポート＆サービス［FAQ］ページ

http://www.canopus.co.jp/tech/faq/faq.htm

# 動作環境

## PC 本体

下記の条件を満たす PC/AT 互換機

- Intel Pentium 4 2.8GHz 以上の CPU
  （Xeon 2.8GHz デュアルプロセッサ（ハイパースレッディング）を推奨）

※ EDIUS はマルチプロセッサ、ハイパー・スレッディング・テクノロジに対応しています。

※ EDIUS を使用する場合には、SSE 命令をサポートした CPU が必要です。

## PCI バス

下記の条件を満たすバススロットに空きが必要

64bit/66MHz PCI（PCI Spec. Revision 2.2）× 1

32bit/33MHz PCI（PCI Spec. Revision 2.2）× 1

※ SD フォーマットのみで使用の場合は、32bit/33MHz PCI（PCI Spec. Revision 2.2）× 2 で可。

## メモリ

1 GB 以上

## ハードディスクドライブ

- ソフトウェアのインストールに 800MB 以上の空き容量が必要
- 映像用に ATA100/5400 回転以上のドライブが必要

※ 非圧縮ファイルを含むストリームを 2 つ以上再生するには Ultra 160 SCSI 以上が必要

※ HD 解像度編集を行う場合は RAID 0 を推奨

※ ハードディスクドライブの空き容量は、編集するファイル容量の 2 倍程度必要

## グラフィック

1024 × 768 ドット 32bit 以上の解像度をもち、DirectDraw のオフスクリーンによるオーバーレイに対応し、かつ以下の VRAM を搭載したもの

- SD 解像度編集は 64MB 以上
- HD 解像度編集、および Xplode を使用する場合は 128MB 以上のグラフィックメモリが必要

## サウンドシステム

WDM ドライバに対応したもの

### CD-ROM

- インストールに必要
- ProCoder EXPRESS for EDIUSの機能を使ってDVD-Videoを作成するにはDVD-R/RW、DVD+R/RWへの書き込み機能を持つドライブが必要

### 対応OS

Microsoft Windows XP Home Edition/Professional 日本語版 Service Pack2以降

### その他

インターネット接続環境、メールアドレス

※ アクティベーション、ユーザー登録、サポート、ソフトウェアのアップデートに必要

※ この条件を満たすすべての環境で動作を保証するものではありません。

## 制限事項

VELXUS 500をご使用いただくにあたり、以下の制限事項がありますのであらかじめご確認ください。また、各アプリケーションの「Readme.htm」にはマニュアルに記載されていない事項などが記述されている場合がありますので必ずお読みください。

### スタンバイモードについて

本製品は、スクリーンセーバーおよびモニタ電源のスタンバイモードを無効（なし）に設定してご使用ください。

### 著作権保護信号について

本製品は、コピー禁止の著作権保護信号が付加された映像をキャプチャできません。

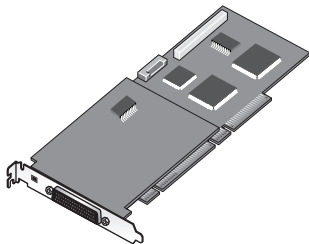
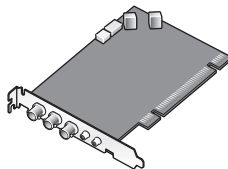
# Chapter 1
# セットアップ

# 1 ハードウェアセッティング

## ボードの取り付け

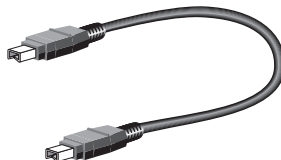
ボードの装着を行う前に、作業を行うことができるほこりの無い乾いたスペースを準備してください。また、プラスドライバー、マイナスドライバーと取り外したねじを入れておく空き箱を用意してください。

使用する部品は次のとおりです。

• メインボード（SHX-E1）

• エクスパンションボード（HX-HD1）

• 専用マルチ I/O ケーブル

• DV ケーブル（4pin-4pin 2m）

• ボード接続ケーブル（6pin-6pin）

• DV ケーブル（4pin-4pin 24cm）

• オーディオケーブル（4pin-4pin）

## 1 PC をシャットダウンし、電源を切ります。

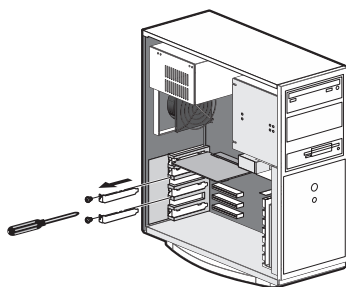
## 2 電源ケーブルなどのケーブル類を取り外します。

**POINT** 取り外す時に、どのケーブルがどのコネクタに接続されていたか、メモをしておくと後で元に戻す際に便利です。

## 3 PC のカバーを取り外します。

取り外し方は、PC 付属の取扱説明書をご確認ください。

## 4 メインボード、エクスパンションボードを装着する PCI スロット位置のスロットカバーを取り外します。

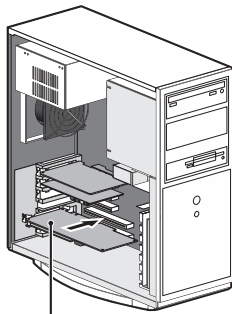
※ PCI スロットの種類については、ご使用の PC の取扱説明書をご確認ください。
※ 取り外したスロットカバーは使用しません。失くさないように保管してください。

## 5 メインボード、エクスパンションボードの取り付け位置を確認します。確認事項は次のとおりです。

- メインボードは、64bit/66MHz PCI スロット、または 32bit/33MHz PCI スロットに装着します。HD 解像度編集を行うには、64bit/66MHz PCI スロットに装着してください。
- メインボード(64bit/66MHz ボード)とエクスパンションボード(32bit/33MHz)等を同じ 64bit/66MHz PCI スロットに装着した場合、64bit/66MHz PCI スロットは 33MHz で操作します。HD 解像度編集を行う場合、64bit/66MHz PCI スロットにはメインボードのみを装着するようにしてください。
- メインボードとエクスパンションボードは、同梱の接続ケーブル（ボード接続ケーブル、オーディオケーブル、DV ケーブル）で接続を行います。本項目を最後までご覧になり、接続用ケーブルの長さをご確認の上で取り付け位置を選定してください。

- ご使用のサウンドボードのコネクタ形状と、同梱のオーディオケーブルのコネクタ形状の規格が異なる場合は、別途ケーブルをご用意ください。

**POINT** 64bit/66MHz PCI スロットは、通常の PCI スロット（32bit/33MHz PCI）より長いスロットです。
※PCI スロットに種類については､ご使用のパソコン（マザーボード）の取扱説明書をご確認ください。

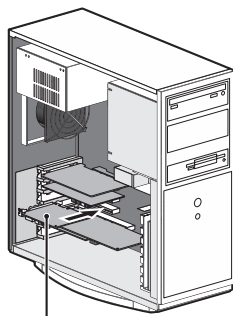
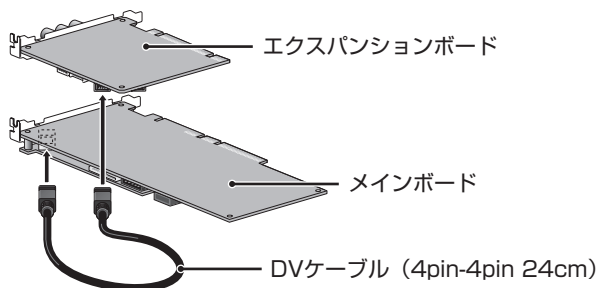
**POINT** 当社製のボードは通常、簡単にスロットに装着できます。何かに引っかかりうまく差し込むことができない場合は、無理に押し込まないようにしてください。このような場合は､ボードを一度取り外し､引っかかりの原因を確認してください。また、異なるスロットへの装着を試してください。どうしても何かに引っかかり装着することができない場合は、物理的な問題でボードを使用することができません。当社製のボードは PCI の規格によって設計されていますので、PC に何らかの問題がある可能性があります。このような場合は、PC メーカーまたはマザーボードメーカーへご相談ください。

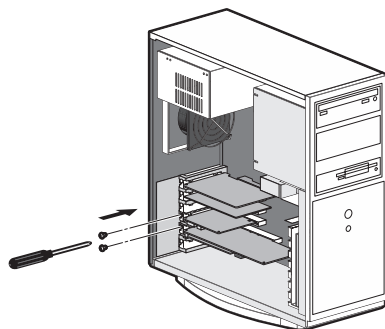
**6** **メインボードを PCI スロットにしっかりと差し込みます。**

**7** **エクスパンションボードを PCI スロットにしっかりと差し込みます。**

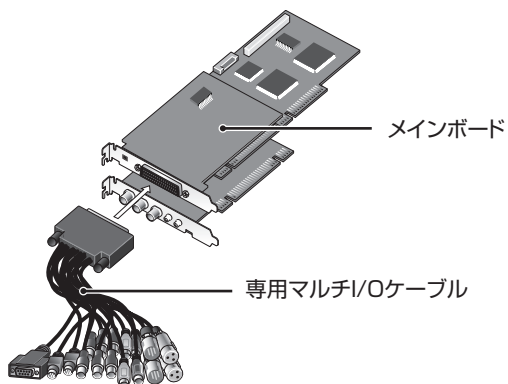
**8** **メインボードとエクスパンションボードを同梱のボード接続ケーブル（6pin-6pin）で接続します。**

**9** **メインボードとエクスパンションボードを同梱のオーディオケーブル（4pin-4pin）で接続します。**

**POINT** 他のサウンドデバイスに接続する場合は、３つの端子の中から適合する端子を接続してください。同梱のオーディオケーブルがご使用のサウンドデバイスのコネクタ形状に適合しない場合は、別途ケーブルをご用意ください。

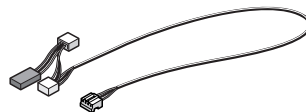
※ エクスパンションボードと接続する場合、この２つのコネクタは使用しないでください。

**10** メインボードとエクスパンションボードを同梱の DV ケーブル（24cm）で接続します。

※ DV ケーブルをエクスパンションボードの DV 端子に接続するときは、2 つの DV 端子のどちらを使用してもかまいません。

**11** メインボード、およびエクスパンションボードのブラケットをネジで固定します。

**12** PC のカバーを取り付けます。

**13** 専用マルチ I/O ケーブルをメインボードへ接続します。ケーブルコネクタのネジを締め、メインボードにしっかり固定します。

**14** PC に電源ケーブルなどのケーブル類を取り付けます。

## オーディオ出力について

オーディオケーブル（4pin-4pin）の仕様は次のとおりです。

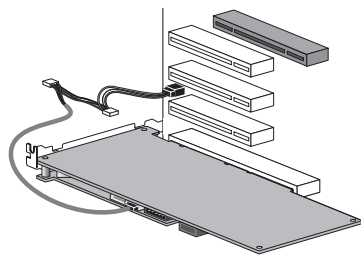
赤 : 右チャンネル（R）
白 : 左チャンネル（L）
黒 : グラウンド（G）

オーディオケーブル（4pin-4pin）

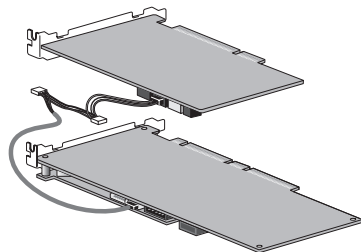
オーディオ出力を行うには、出力先のサウンドデバイスとメインボードを、同梱のオーディオケーブル（4pin-4pin）で接続します。

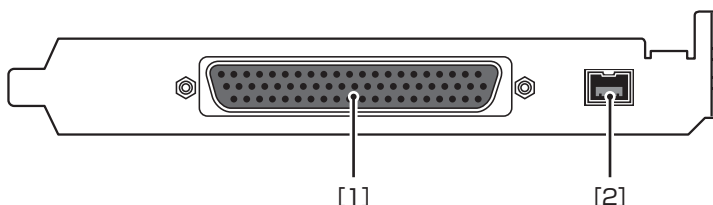
※ 同梱のオーディオケーブル（4pin-4pin）は、形状、配線仕様が異なる3つのコネクタに分岐しています。分岐していない側はメインボードに、分岐している側は出力先のサウンドデバイスに接続します。接続先のコネクタ形状、および配線仕様に適合するコネクタをご使用ください。同梱のオーディオケーブル（4pin-4pin）が使用できない場合は、別途オーディオケーブルをご用意ください。

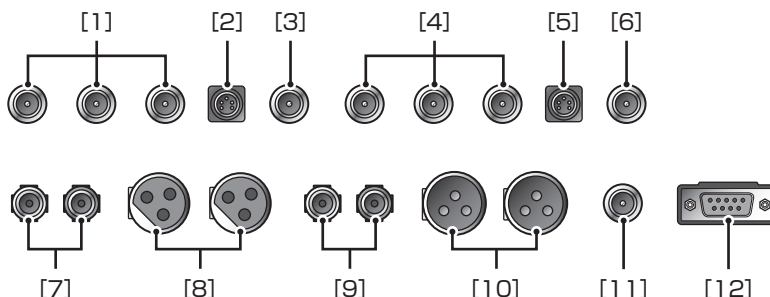
### オンボードのサウンドデバイスから出力する場合

オーディオケーブルをマザーボードの端子と接続します。

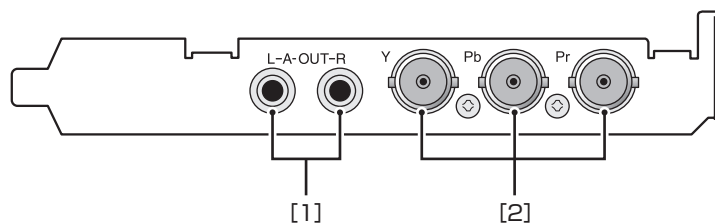
※ オンボードサウンドデバイス（マザーボードに実装されているサウンドデバイスです。詳しくはご使用の PC、もしくはマザーボードの取扱説明書を参照してください）のコネクタ位置によっては、スロットに装着したボードと干渉する場合がありますのでご注意ください。

### サウンドボードから出力する場合

オーディオケーブルをサウンドボードの端子と接続します。

# 各部名称

## メインボード（SHX-E1） リアパネル

［1］専用マルチ I/O ケーブル端子（D-sub 62pin）
［2］DV 端子（DV 4pin）

## 専用マルチ I/O ケーブル　接続端子

［1］コンポーネント入力端子（BNC）
［2］S ビデオ入力端子（S 端子）
［3］コンポジット入力端子
［4］コンポーネント出力端子（BNC）
［5］S ビデオ出力端子（S 端子）
［6］コンポジット出力端子
［7］アンバランスオーディオ 2ch 入力端子（RCA）
［8］バランスオーディオ 2ch 入力端子（XLR）
［9］アンバランスオーディオ 2ch 出力端子（RCA）
［10］バランスオーディオ 2ch 出力端子（XLR）
［11］リファレンス入力端子（BNC）
［12］リモート端子（D-Sub9 ピン）

**POINT** 専用マルチ I/O ケーブルのアンバランスオーディオ入力端子（RCA）を接続する場合は、接続する端子を奥まで（カチッと音がするまで）しっかりと差し込み、接続してください。

## エクスパンションボード（HX-HD1） リアパネル

［1］アンバランスオーディオ 2ch 出力端子（ピンジャック）
メインボードのアナログオーディオ出力と同時使用が可能です。

［2］HD/SD コンポーネント出力端子（BNC）

# 2 インストール／アンインストール

## EDIUS をインストールする

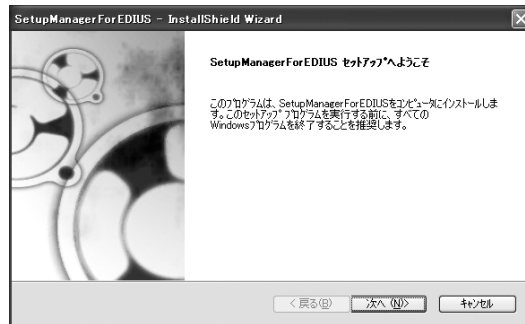
**ご注意**

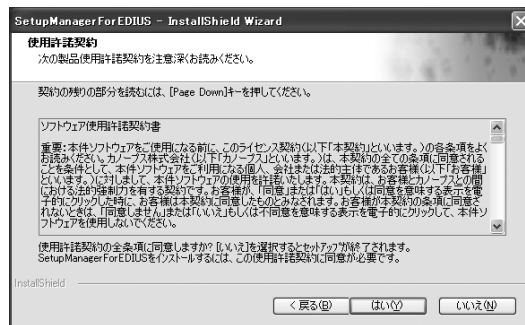
- ボードを装着した後に PC を起動すると、［新しいハードウェアの検出ウィザード］が起動しますが、ここでは［キャンセル］を選んでください。
- インストールを始める前に、常駐ソフトウェアを含む他のすべてのアプリケーションソフトを終了してください。
- Administrator 権限（PC の管理者など）を持つアカウントでインストール作業を行ってください。
- 当社製 MVR-D2000 および MTV シリーズ（MTVX シリーズは不可）をお持ちの場合は、あらかじめこれらの製品のドライバとアプリケーションソフトのインストールを行っておいてください。
- After Effects、PhotoShop、および Premiere Pro 用のプラグインを使用する場合は、あらかじめこれらの製品のインストールを行っておいてください。
- インストールされるアプリケーションは、モデルにより異なる場合があります。
- EDIUS version 4 をインストールする場合、version 4 以前の EDIUS はアンインストールされます。インストールを行う前に、キーボードショートカットなどのカスタマイズした設定ファイルのバックアップをとり、アンインストールしておいてください。

### 1 EDIUS version 4 Installation CD を CD-ROM ドライブにセットします。

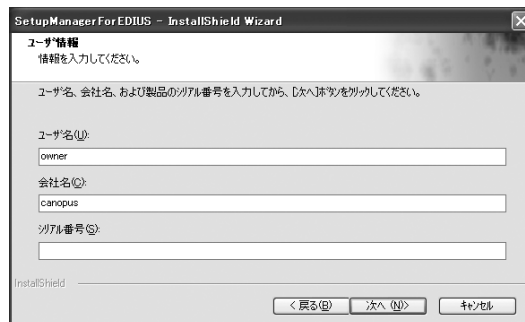
自動起動しない場合は、EDIUS version 4 Installation CD を開き、［SetupManager ForEDIUS.exe］をダブルクリックしてください。

［InstallShield Wizard］ダイアログが表示されます。

**POINT** PC に version 4 以前の EDIUS がインストールされている場合は、画面にしたがってアンインストールを行い、PC を再起動してください。

## 2 ［次へ］をクリックします。

## 3 使用許諾契約に同意される場合は、［はい］をクリックします。

**POINT** ［いいえ］をクリックすると、インストールを中止します。使用許諾契約に同意いただけない場合は、インストールを中止し、書面にて当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

**ご注意** 使用許諾契約書は、内容をスクロールさせ、必ずすべての条項をお読みください。

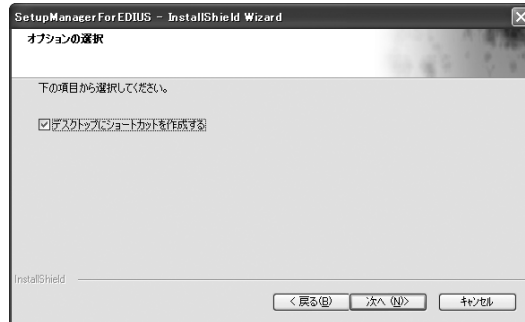
## 4 ユーザ名、会社名、シリアル番号を入力し、［次へ］をクリックします。

**ご注意**
- シリアル番号は、EDIUS version 4 Installation CD が入っている袋に貼付されている、6 桁-16 桁の番号を入力してください。
- シリアル番号は再発行できませんので、紛失されないように大切に保管してください。

## 5 EDIUS をインストールするフォルダを指定し、[次へ] をクリックします。

他のフォルダにインストールする場合は、[参照] をクリックし、フォルダを選択します。

## 6 インストールする項目にチェックを入れ、[次へ] をクリックします。

[HX-E1] にチェックが入っていることを確認してください。

**7** ［デスクトップにショートカットを作成する］にチェックを入れ、［次へ］をクリックします。

**8** 設定を確認し、［次へ］をクリックします。

EDIUS のインストールが開始されます。

**POINT** ダイアログに次のメッセージが追加されることがあります。
「Xplode EDIUS を HD サイズのプロジェクトで使用する場合は、128MB 以上のグラフィックメモリを持ったグラフィックカードが必要です。」
このメッセージは、HD 解像度編集で Xplode EDIUS を使用した場合、使用しているグラフィックカードの性能が動作条件を満たさない可能性がある場合に表示されます。

**9** ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選び、［完了］をクリックします。

PC が再起動します。EDIUS のインストールは完了です。

**POINT** EDIUS を使用する際は、PC の USB ポートに USB キーを装着してください。正しく認識されると、新しいハードウェアが見つかったことを表すメッセージが表示されます。

## TitleMotion Pro for Canopus のインストール

**POINT** TitleMotion Pro for Canopus は、EDIUS をインストールした後にインストールしてください。

**1** **TitleMotion Pro for Canopus のインストール CD（TITLEMOTION PRO for Canopus）を CD-ROM ドライブにセットします。**

［SetupManager For EDIUS］ダイアログが表示されます。

**2** **［次へ］ボタンをクリックします。**

**3** **［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］ボタンをクリックします。**

パソコンが再起動します。TitleMotion Pro for Canopus のインストールは完了です。

**POINT** 同梱されているバンドルソフトウェアのインストールについては、各ディスク（CD-ROM、DVD-ROM）に含まれるマニュアル、ヘルプ等をご覧ください。

# 付属のアプリケーションソフトウェアをインストールする

付属アプリケーションソフトウェアは、必要に応じてインストールしてください。

## Bonus CD の内容

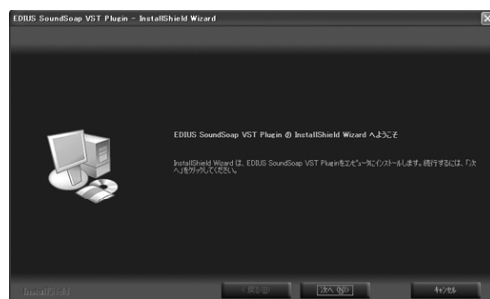
Bonus CD は、以下の内容になっています。

| | |
|---|---|
| Adorage | Adorage Canopus Edition 3D トランジションパック（英語版）が収録されています。プリセットのアニメーション 3D トランジションが数多く用意されているほか、カスタマイズも可能です。<br>［AdoCanopus1.exe］をダブルクリックし、画面にしたがってインストールしてください。 |
| DVCapture | IEEE1394（OHCI）ポートに接続した最大 2 台のカメラと、VELXUS に接続したカメラとで、計 3 台からの同時キャプチャが可能な DV キャプチャツールです。DV のタイムコードの切れ目を検出し、自動的にファイルを分割する機能も搭載しています。<br>［CDVCap.exe］をダブルクリックし、画面にしたがってインストールしてください。 |
| Imaginate2Demo | 高解像度の静止画を使って、簡単な操作で本格的なアニメーション作成ができるアプリケーションソフトウェア、Imaginate 2.0 をお試しいただけます。<br>※試用期間は 15 日です。<br>［Japanese］フォルダ内の［Install.exe］をダブルクリックし、画面にしたがってインストールしてください。 |
| MPEGCapture | 当社製 MTV シリーズ、MTU シリーズ、HDV 機器を使用して MPEG ファイルの取り込みを行えるソフトウェアです。インストールすると、EDIUS のメニューバー［キャプチャ］から、MPEG Capture を起動できるようになります。<br>［setup.exe］をダブルクリックし、画面にしたがってインストールしてください。 |
| SoundSoap | SoundSoap 2 VST Plugin（英語版）が収録されています。さまざまなメディアファイルのクリック、クラックル、ヒス、ハム、バズ、ランブルなどのノイズ成分を除去／軽減します。詳しくは、付属の PDF マニュアルをご覧ください。 |
| Canopus Plug-ins | Adobe After Effect 6.5/7.0、Adobe Photoshop CS/CS2、Adobe Premiere Pro 1.5 を使用するためのプラグインです。 |
| Keyboard Shortcut | デフォルトショートカットキーファイル、「Avid shortcut for EDIUS.dat」、「EDIUS Pro3 shortcut.dat」、「FinalCutPro shortcut for EDIUS.dat」が収録されています。 |

## SoundSoap のインストール

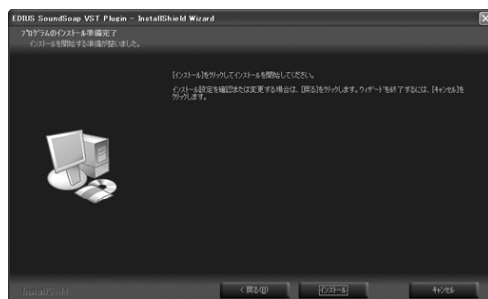
**1** Bonus CD を CD-ROM ドライブにセットします。

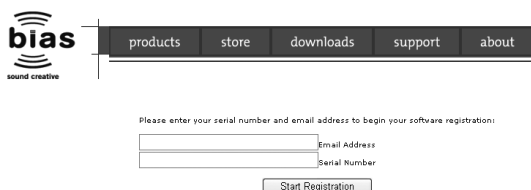
**2** [SoundSoap] フォルダを開き、[EDIUSSoundSoapVSTPlugin.exe] をダブルクリックします。

[InstallShield Wizard] ダイアログが表示されます。

**3** [次へ] をクリックします。

**4** 使用許諾契約に同意される場合は、[使用許諾契約の全条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

**ご注意** 使用許諾契約書は、内容をスクロールさせ、必ずすべての条項をお読みください。

## 5 ［インストール］をクリックします。

［Authorize SoundSoap］ダイアログが表示されます。ライセンス認証を行ってください。

## 6 ［Register Online］をクリックします。

### すでに登録がお済みの場合

Name（お名前）、Organization（会社名、部署名など。個人使用の場合は空欄にしてください）、Serial Number（BSSから始まるシリアル番号）、Authorization（登録時送付されるメールに記載されているAuthorization Code）を入力し、［Authorize］をクリックしてください。
以前登録した際に送付されたメールを紛失され、Authorizationの番号がわからない場合は、下記サイトにアクセスし、登録されたE-Mailアドレスおよび、SoundSoapのシリアル番号を入力すると確認できます。
http://www.bias-inc.com/support/register/

**7** メールアドレス、シリアル番号を入力し、［Start Registration］をクリックします。

**POINT**

- シリアル番号は、EDIUS version 4 Installation CD が入っている袋に貼付されている、BSS から始まる番号です。EDIUS のシリアル番号シールの上に貼付されています。
- EDIUS をインストールする PC がインターネットへ接続できない場合は、インターネットが利用できる PC で http://www.bias-inc.com/support/register/ へアクセスし、手順 6、7 を行ってアクティベーションと Authorization Code の取得を行ってください。

**ご注意**

- シリアル番号は再発行できませんので、紛失されないように大切に保管してください。
- シリアル番号および Authorization Code は、再インストール時にも必要になりますので、紛失しないようにご注意ください。
- メールアドレスをお間違いになりますと、後ほど発行される Authorization Code が送信されません。お間違いのないよう入力、確認のうえ、［Start Registration］をクリックしてください。

## 8 登録に必要な情報をローマ字（半角英数）で入力し、[Complete Registration]をクリックします。

bias
sound creative
products store downloads support about

The serial number you have entered: BSS- is available for registration.
Please tell us a bit about yourself!
Fields marked with an asterik (*) are required
* First Name
Middle Intial
* Last Name
Company/Organization
* Address Line One
Address Line Two
* City
State
* Zip/Postal Code
Country USA
Phone Number
Email Address:
Opt-In
Other
What audio hardware do you use?
Which samplers do you use?
Complete Registration

「＊」のある項目は、必ず入力してください。
First Name = 名前
Last Name = 苗字
Address Line One = 住所（例：1-2-2 Murotani, Nishi-ku）
City = 市郡（例：Kobe, Hyogo）
Zip/Postal Code = 郵便番号（例：655-2241）

**POINT** ［Complete Registration］をクリック後、「The Serial Number you have entered: BSS-xxxxxxxxxxxxxx has already been registered to the email address.」と表示された場合は、すでに登録が完了しています。

**9 ［Platform］をWindowsに変更し、［Complete Registration］をクリックします。**

The serial number you have entered: BSS-　　　　　　　is available for registration.

Please select a platform, if applicable:

| Product | Serial Number | Platform |
| --- | --- | --- |
| SoundSoap 2 | BSS- | Windows |

Complete Registration

手順7で登録したメールアドレスに、BIAS社からメールが届きます。

**10 必要項目を入力し、［Authorize］をクリックします。**

Name（お名前）、Organization（会社名、部署名など。個人使用の場合は空欄にしてください）、Serial Number（BSSから始まるシリアル番号）、Authorization（登録時送付されるメールに記載されているAuthorization Code）を入力します。

**POINT** EDIUSをインストールするPCとは別のPCでアクティベーションとAuthorization Codeの取得をした場合は、そのPCにメールで送付されるAuthorization Codeを入力してください。

## DV Captureのインストール

**1 Bonus CDをCD-ROMドライブにセットします。**

**2 ［DVCapture］フォルダを開き、［CDVCap.exe］をダブルクリックします。**

［InstallShield Wizard］ダイアログが表示されます。

**3** [次へ] をクリックします。

**4** 使用許諾契約に同意される場合は、[使用許諾契約の全条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

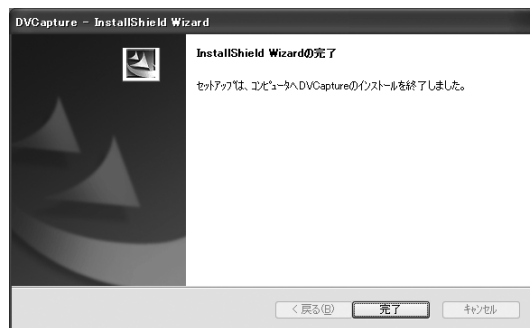
**ご注意**　使用許諾契約書は、内容をスクロールさせ、必ずすべての条項をお読みください。

**5** ユーザ名、会社名を入力し、[次へ] をクリックします。

## 6 DV Captureをインストールするフォルダを指定し、[次へ]をクリックします。

別のフォルダにインストールする場合は、[変更] をクリックし、フォルダを選択します。

## 7 [インストール] をクリックします。

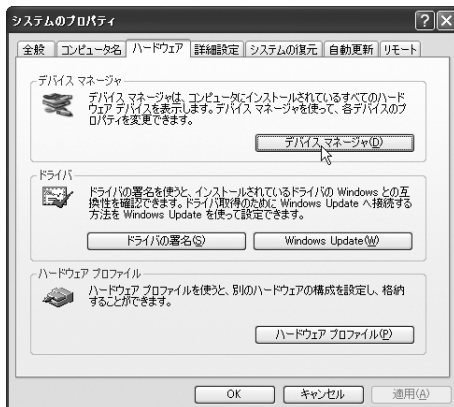
## 8 [完了] をクリックします。

# インストール後の確認

## リソースの確認

ドライバ、アプリケーションソフトのインストールを完了し、再起動後にドライバが正常にインストールされたかを確認してください。

**1 ［スタート］メニューの［コントロールパネル］から［パフォーマンスとメンテナンス］へ進み、［コンピュータの基本的な情報を表示する］を選択します。**

または［スタート］メニューのマイコンピュータ上で右クリックし、［プロパティ］を選択してください。

**2 ［ハードウェア］タブを選択し、［デバイス マネージャ］をクリックします。**

**3 ［サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ］をダブルクリックします。**

## 4 デバイス名を確認します。

- ［HX-E1］

デバイス名の頭に「！」や「×」のマークが表示されている場合、VELXUS シリーズのドライバが正常にインストールされていません。

再インストール、リソース競合の確認やボード差込位置の変更などをお試しください。

## 5 ［デバイス マネージャ］を閉じます。

メインボード（SHX-E1）のドライバの確認は以上です。

続けて、エクスパンションボードのドライバを確認します。

## 6 EDIUS、または ADVC Mode Controller を一度起動し、終了します。

**POINT**
- EDIUS の起動については、「EDIUS リファレンスマニュアル」の「EDIUS の起動」を参照してください。
- ADVC Mode Controller の起動については、「ADVC モードの使用」P108 を参照してください。

## 7 手順 1、2 を参照し、[ デバイス マネージャ ] を開きます。

## 8 次の項目をダブルクリックし、ドライバがインストールされていることを確認します。

- **項目－［1394 バス ホスト コントローラ］**
  ドライバー［NEC OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］
- **項目－［イメージング デバイス］**
  ドライバー［AVC Compliant DV Tape Recorder/Player］
- **項目－［ネットワーク アダプタ］**
  ドライバー［1394 ネット アダプタ］

※［AVC Compliant DV Tape Recorder/Player#2］、［1394 ネット アダプタ #2］の "#2" は、何度かボードの抜き差しを行った場合などに表示される場合があります。表示内容は、ご使用の環境により異なります。

## 9 ［デバイス マネージャ］を閉じます。

## リソースが競合している場合

お使いの製品と他のデバイス類のリソースが競合もしくは共有している場合、正常動作しないことがあります。以下の方法をお試しください。

※ 割り込みを共有する他の機器を取り外すか、他の機器の IRQ の変更を行ってください。

※ PC 本体（マザーボード）の BIOS でリソースの設定を変更してください。BIOS の設定方法は各メーカーによって異なりますので、PC 本体、マザーボードなどに付属の取扱説明書をご参照ください。

**POINT** IRQ の設定方法は PC、マザーボードなど各メーカーにより異なります。BIOS で PCI スロットごとに任意の IRQ を割り当てるタイプや、特定の IRQ をあらかじめ予約するタイプなどがあります。

# アンインストールする

## ドライバおよび EDIUS のアンインストール

**ご注意**
- アンインストールを始める前に、常駐ソフトウェアを含む他のすべてのアプリケーションソフトウェアを終了してください。
- Administrator 権限（PC の管理者など）を持つアカウントでアンインストール作業を行ってください。

**1** ［スタート］メニューから、［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をクリックします。

**2** ［EDIUS4（SetupManager)］を選び、［変更と削除］をクリックします。

## 3 ［次へ］ボタンをクリックします。

アンインストールを開始します。

## 4 ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］ボタンをクリックします。

PC が再起動します。アンインストールは完了です。

# 3 ライセンス移動

## ライセンスを移動する

USB ポートの少ないノートパソコンで使用される場合や、USB キーを持ち歩きたくない場合に便利です。下記の「ご注意」の項目を必ずご確認のうえ、ライセンス移動を行ってください。

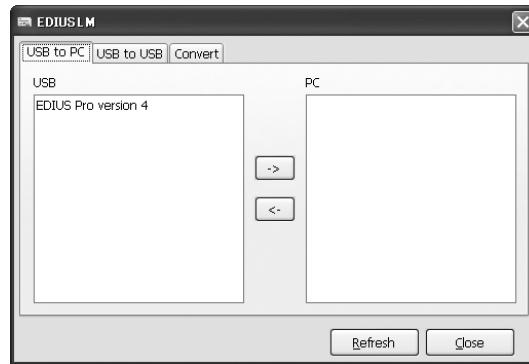
**ご注意**

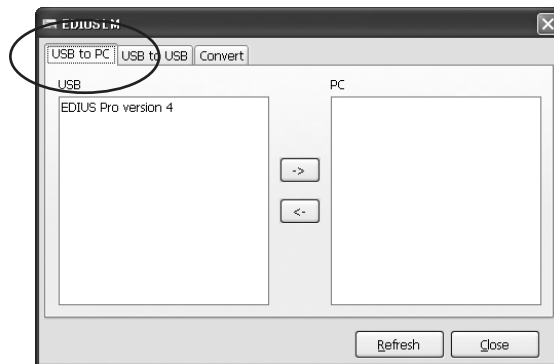
- ライセンス移動ツールを使用するには、あらかじめ EDIUS がインストールされている環境で実行する必要があります。
- ライセンス移動ツールを終了するときは、必ずライセンスの移動を完了してから行ってください。完了前に終了すると、ライセンスが失われます。
- USB キーを紛失されますと、いかなる場合（ライセンス情報が PC にある場合など）においても、USB キーの再発行はできませんので厳重に管理してください。
- ライセンスは、PC ⇔ USB キー間、USB ⇔ USB 間でのみ移動が可能です。PC ⇔ PC 間の移動はできません。
- 同一製品のライセンスを複数お持ちの場合、そのライセンスを 1 つの USB キーへ集約することはできません。
- PC へのライセンスを移動させた場合、ハードディスクの故障や何らかの理由でシステムが故障すると、ライセンスが消失され、復旧できない危険性があります。特別な理由がない場合は、PC へのライセンス移動はお勧めしません。
- PC へのライセンスを移動させた場合、ハードウェアの構成を変更すると（CPU・メモリ・マザーボード・HDD・NIC など）、PC に登録したライセンスデータが無効になる可能性があります。

### ライセンス移動ツールの起動

1. PC の USB ポートに移動するライセンスのある USB キーを装着します。
2. EDIUS version 4 Installation CD を CD-ROM ドライブにセットします。

**3** [Tools] → [EdiusLM] フォルダ内の [EdiusLM.exe] をダブルクリックします。

[EDIUSLM] ダイアログが表示されます。

## USB キーと PC のローカルディスク間の移動

**1** [EDIUSLM] ダイアログで [USB to PC] タブをクリックします。

**2** 移動させたいライセンスを選び、[->] をクリックします。

PC から USB キーへ移動する場合は、[<-] をクリックしてください。

**3** 移動が終わったら [Close] をクリックします。

## USB キーから USB キーへの移動

**1** ［EdiusLM］ダイアログで［USB to USB］タブをクリックします。

**2** ライセンスを選び、［->］をクリックして移動候補に移動します。

**3** 移動させる USB キーに差し替え、［Refresh］をクリックします。

**ご注意**
- 異動先の USB キーを装着するときは、異動元の USB キーを取り外してから行ってください。
- USB キーの差し替えを行った場合は、必ず［Refresh］をクリックして、リストの更新を行ってください。

**4** ライセンスを選び、［<-］をクリックして、USB に移動します。

**5** 移動が終わったら［Close］をクリックします。

**ご注意**
- ライセンスの移動中に USB キーの抜き差しは行わないでください。
- ライセンスの移動は USB キーを 1 つずつ差し替えながら作業を行ってください。

Chapter 2

# EDIUS の使用

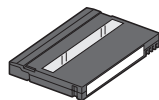
# 1 HDV 映像の運用

EDIUS を使用して HDV 映像のキャプチャと編集が可能です。
HDV の MPEG ファイル [*1] を 1 時間キャプチャするには、約 13GB のファイル容量が必要です。キャプチャした MPEG ファイルを編集する予定がある場合は、編集時に軽快に動作する HQ AVI ファイル [*2] でキャプチャ（HQ キャプチャ機能）することをお勧めします。ただし、HQ AVI ファイルは MPEG ファイルと比べ、ファイル容量が約 7 倍（映像や設定によって容量は上下します）になりますので、ハードディスク容量に注意が必要です。また、ご使用のパソコンの動作環境により HQ キャプチャ機能を使用できない場合があります。
HQ キャプチャを行うには、次の推奨以上の動作環境が必要です。

- HDV 編集の場合
  最低 :Intel Pentium 4 3.0 GHz（Hyper-Threading 対応）以上
  推奨 :Intel Pentium D 3.0 GHz（デュアルコア、EM64T）以上
  推奨 :Intel Xeon 2.8 GHz（Hyper-Threading 対応）× 2

※ HQ キャプチャが行えない場合は、HDV キャプチャと HQ AVI ファイルへの変換を別々に行ってください。

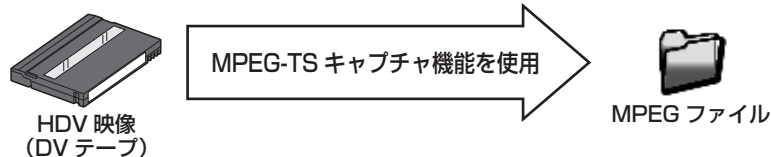
*1 ネイティブ MPEG（MPEG-TS 形式）ファイルです。この項目では MPEG ファイルと記載します。
*2 Canopus HQ Software Codec でリアルタイム・トランスコードキャプチャを行ったファイルです。HD 画質を高画質のまま変換します。

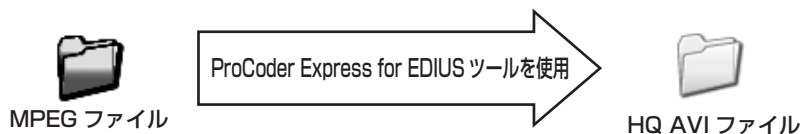
## HQ AVI ファイルでキャプチャ

HQ キャプチャ機能を使用

HDV 映像
（DV テープ）

HQ AVI ファイル

※ ハードディスクの容量にご注意ください。

## MPEG（MPEG-TS 形式）でキャプチャ

## MPEG（MPEG-TS 形式）ファイルを HQ AVI ファイルへ変換

編集を行う場合は、HQ AVI ファイルへの変換をお勧めします。

※ ハードディスクの容量にご注意ください。

## HDV 機器へファイルを書き出す

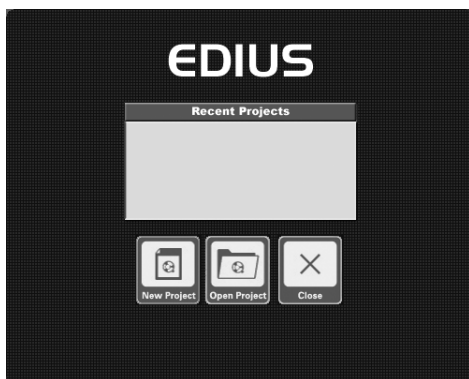
**POINT** 詳しくは「EDIUS リファレンスマニュアル」を参照してください。

# 2 EDIUSの設定

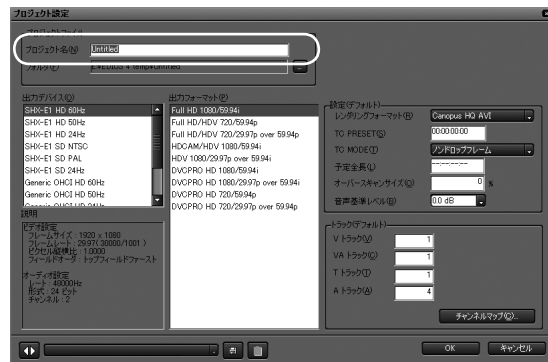
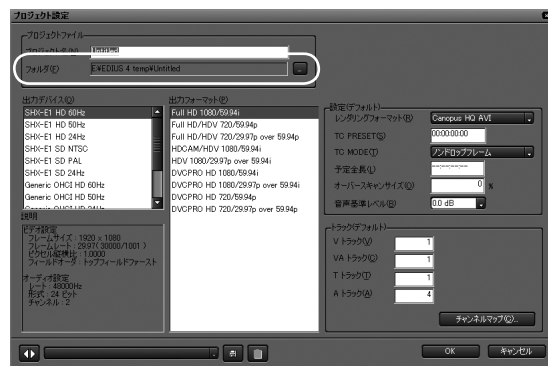
**POINT　USBキーについて**
EDIUSを使用する際には、付属のUSBキーをPC本体に接続してください。USBキーを接続されない場合、EDIUSは30日の使用制限モードで動作し、インストール後30日で動作しなくなります。USBキーを接続せずに使用する方法については「ライセンスの移動」P39を参照してください。

## プロジェクト設定

EDIUSを起動すると、［プロジェクト設定］ダイアログが表示されます。このダイアログでは、ご使用のVTR、および編集形式に応じた出力デバイスとコーデックを設定します。

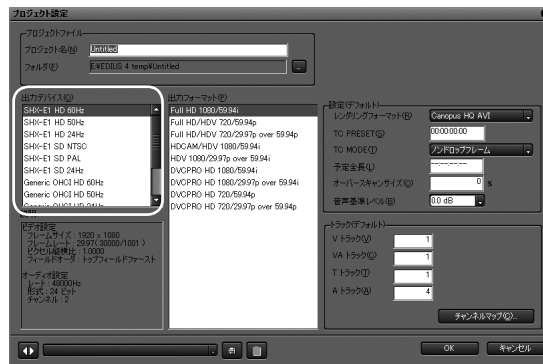
**1　EDIUSを起動し、［New Project］ボタンをクリックします。**

［プロジェクト設定］ダイアログが表示されます。

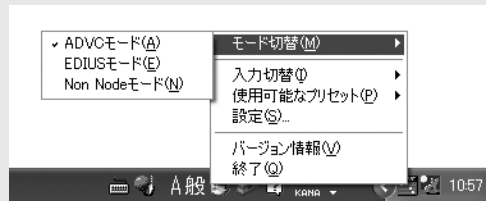
## 2 ［プロジェクト名］に、作業するプロジェクト名を入力します。

※ プロジェクト設定の設定内容は、編集作業中に変更することが可能です。

## 3 作業するフォルダを変更する場合は、［...］ボタンをクリックし、表示される［フォルダの参照］ダイアログからフォルダを指定します。

**POINT** EDIUS の作業効率を良くするために、フォルダはシステムのインストールされていないハードディスク（2台目のハードディスク等）に作成することを推奨します。

## 4 ［出力デバイス］を選択します。

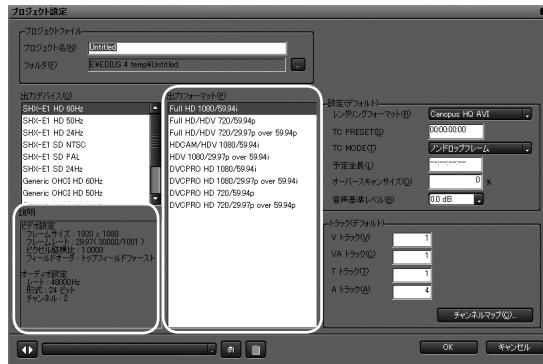
編集中のリアルタイムビデオ出力を行う場合や、アナログ映像音声、DV/HDV映像の取り込み、DV 編集完了後のテープ出力を行う場合には、［SHX-E1 xxx］を選択します。

［Generic OHCI xxx］は、エクスパンションボードを装着していない状態でHDV 形式の映像を編集する場合に選択します。また、パソコンに装備されているIEEE1394 インターフェースとパソコン画面上のオーバーレイ画面だけを利用して編集する場合に使用します。

POINT 出力デバイスの選択については、「入出力フォーマット一覧」P121 を参照してください。

POINT ADVC Mode Controller は、エクスパンションボードを装着すると使用可能になるソフトウェアです。一度起動するとタスクトレイアイコンに常駐します。タスクトレイアイコンの右クリックメニューから、動作モードを切り替えることができます。

出力デバイスで［SHX-E1］を使用する場合は、ADVC Mode Controller を［EDIUS モード］で使用してください。

POINT ADVC Mode Controller については、「ADVC Mode Controller の機能」P108 を参照してください。

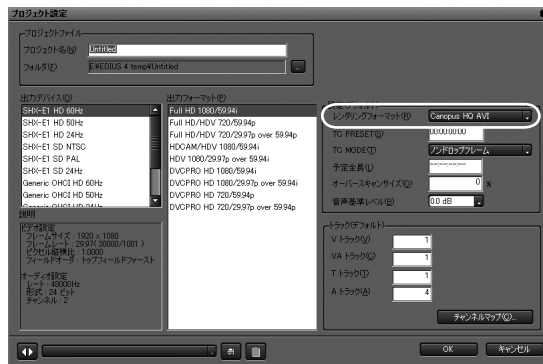
## 5 ［出力フォーマット］からプリセットを選択します。

出力デバイスによって、選択可能なプリセットは異なります。

［説明］にはプリセットの内容が表示されます。

**POINT** エクスパンションボードを装着していない場合は、HD 関連のプリセットは表示されません。

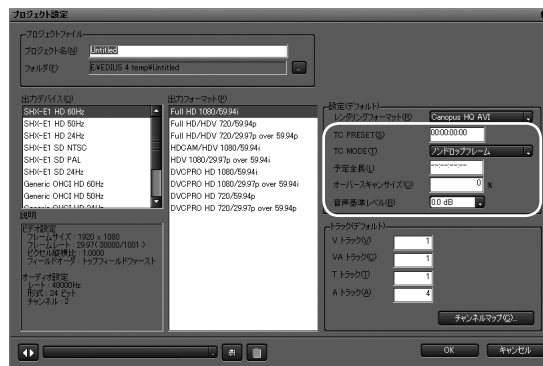
**POINT** 本書に記載されていない EDIUS の操作および設定については、「EDIUS リファレンスマニュアル」を参照してください。

## 6 ［レンダリングフォーマット］を確認します。

出力フォーマットに適したコーデックが自動で選択されます。必要に応じて変更してください。

※ EDIUS ではレンダリングを行うときに、レンダリング用のテンポラリファイルを作成します。このテンポラリファイルを作成するためのビデオコーデックを［レンダリングフォーマット］で設定します。ビデオフォーマットに応じ、推奨のコーデックを選択すると、レンダリングが高速（リアルタイムを含め）に処理されます。

**POINT** ［プロジェクト設定］ダイアログの［レンダリングフォーマット］と、キャプチャ時のコーデックとの間に関係はありません。EDIUS のタイムライン上のレンダリング処理は、メモリ上でリアルタイムに非圧縮で展開されるものです。

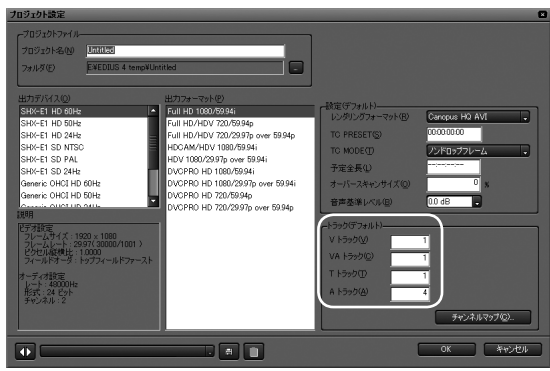
**POINT**
- 推奨コーデックについては、「入出力フォーマット一覧」P121 を参照してください。
- HDV 編集については、「HDV 映像の運用」P42 を参照してください。
- コーデックの特徴については、「コーデックについて」P118 を参照してください。

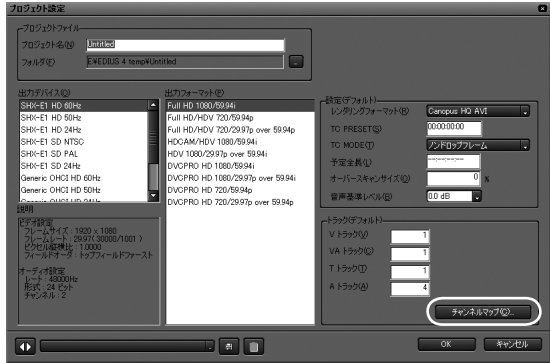
**7** ［TC PRESET］、［TC MODE］、［予定全長］、［オーバースキャンサイズ］、［音声基準レベル］を設定します。

| | |
|---|---|
| TC PRESET | タイムライン先頭のタイムコードを設定します。 |
| TC MODE | NTSC（29.97fps）系のタイムコードのドロップ／ノンドロップフレームを設定します。 |
| 予定全長 | 完成時の全長が決まっている場合に設定します。設定しておくと、予定全長を超えた部分のタイムラインの色を変え、注意をうながします。 |
| オーバースキャンサイズ | オーバースキャン表示する場合に、比率を入力します。入力範囲は［0］から［20］です。オーバースキャン表示をしない場合は［0］を入力します。 |
| 音声基準レベル | ［オーディオミキサー］ダイアログで、インジケーター表示を［音声基準スケール］に設定した場合の目盛り数値［0］に設定するサンプリング値を設定します。 |

**POINT** **オーバースキャンサイズ**

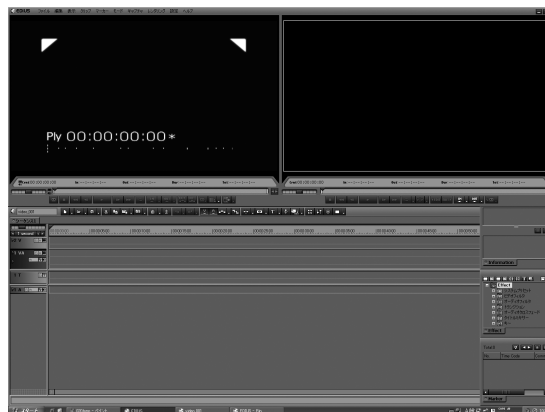
ここで設定したオーバースキャン領域の外側は無効領域となり、トランジションエフェクトなどの適用範囲外になります。作成した映像データの全域を有効領域として使用する場合は、オーバースキャンサイズに［0］を入力します。
例えば、使用する映像クリップの画面端に無効領域（黒枠）がある場合、無効領域をオーバースキャン領域の外側へ表示させるように設定することで、無効領域をトランジションエフェクトなどから除外することが可能です。

### 8 ［トラック］欄のビデオ、オーディオ、タイトルトラック数を設定します。

タイムライン上のトラック数を設定します。トラック数は、編集作業中に増減させることが可能です。

### 9 ［チャンネルマップ］ボタンをクリックし、オーディオタイムラインと出力される音声出力信号とのマッピングを設定します。

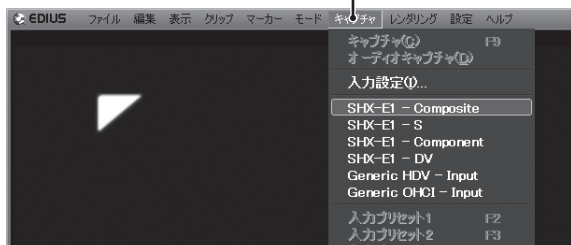
［オーディオチャンネルマップ］ダイアログで、オーディオチャンネルの出力とタイムラインの VA トラック、A トラックの出力先を設定します。

**POINT** 例えば［D1 59.94i 4:3］設定を選択した場合、プリセットされているオーディオチャンネルは2chになります。2chの出力に対してオーディオ関係のタイムラインには、［プロジェクト設定］で指定したVAトラック、Aトラック数分のオーディオトラックが存在していて、それぞれのオーディオ関係トラックには2ch（L／R）が存在します。下の写真ではVAトラック、Aトラック4の計5トラックが設定されています。
この10chのオーディオ出力とプリセットに設定されている2chのオーディオ出力との関係を、次のように［オーディオチャンネルマップ］ダイアログで設定した場合、VAトラック、Aトラックに配置されたオーディオ2ch（L／R）はオーディオフォーマットのCh1、Ch2に出力されます。

**10 設定が完了したら、［OK］ボタンをクリックします。**

ダイアログが閉じ、EDIUSの編集画面が表示されます。

# キャプチャ

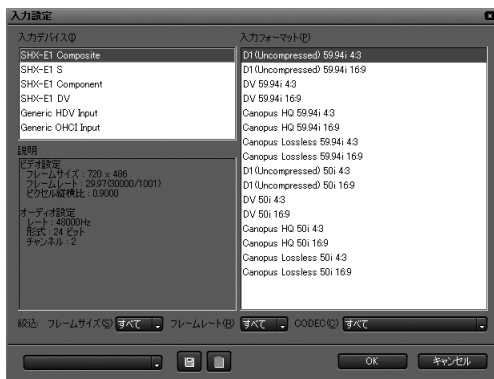
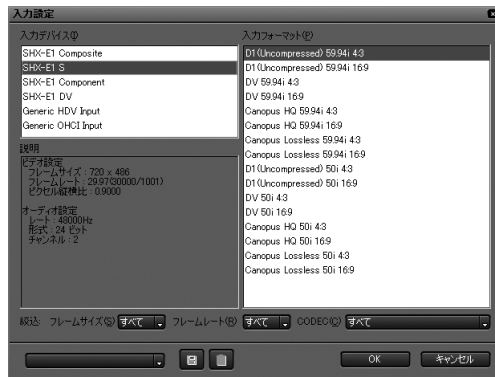
**ご注意** EDIUS を使用中にケーブルの抜き差し（IEEE1394 ケーブル、USB ケーブル）は行わないでください。

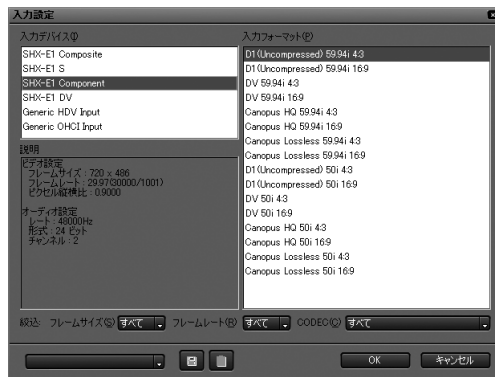
**1 キャプチャを行う場合は、［キャプチャ］メニューから、入力デバイスを選択します。**

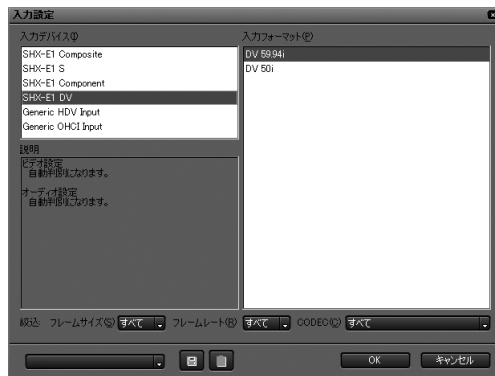
［キャプチャ］メニュー

［入力設定］を選択し、［入力設定］ダイアログで［入力デバイス］を選択することも可能です。

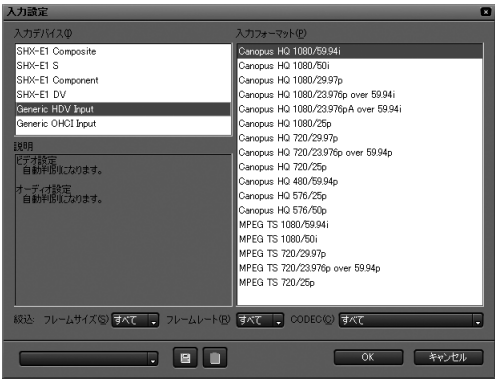
**2 ［入力設定］ダイアログで、コーデックを選択し、［OK］ボタンをクリックします。**

**POINT** キャプチャ操作については「EDIUS リファレンスマニュアル」の「外部素材の取り込み」を参照してください。

コンポジット入力の場合は、［SHX-E1 Composite］を、S ビデオ入力の場合は、［SHX-E1 S］を選択します。［入力設定］ダイアログで、プリセットのコーデック（入力フォーマット）を選択します。

SHX-E1 Composite の場合

**SHX-E1 S の場合**

コンポーネント入力の場合は［SHX-E1 Component］を選択します。

**SHX-E1 Component の場合**

メインボードの IEEE1394 インターフェースを使用する場合は、［SHX-E1 DV］を選択します。

**SHX-E1 DV の場合**

HDV 形式をキャプチャする場合は、[Generic HDV input] を選択します。

Generic HDV Input の場合

**POINT** DV 編集については、「HDV 映像の運用」P42 を参照してください。

汎用 OHCI（IEEE1394）を使用する場合は、[Generic OHCI Input] を選択します。

Generic OHCI Input の場合

# ハードウェア設定（SHX-E1 設定）

［設定］メニューから［ハードウェア設定］を選択すると、［設定］ダイアログが表示されます。

## システム設定

| | |
|---|---|
| RT 再生バッファ | リアルタイム再生時に使用するバッファのフレーム数（32、48、64、96）を設定します。フレーム数を大きくするとリアルタイム再生がしやすくなりますが、その分メモリを消費します。 |
| 同期信号 | ［REF 同期］、［入力同期］、［OFF（フリーラン）］の中から同期信号を選択します。指定された同期信号で同期が取れない場合には、自動的に適切なモードに移行します。<br>たとえば再生時に選択した同期信号が入力されていない場合は、フリーランモードになります。キャプチャ時に［OFF（フリーラン）］が選択されている場合は、自動的に入力同期モードになります。<br>下段には同期状態を表示します。［NO SYNC/SYNC OK］は、現在のシステムが、入力されている信号と同期がとれているかどうかを示します。［NO SIGNAL/SIGNAL OK］は、入力端子に何らかの入力があるかどうかを示します。 |

**POINT** ［入力同期］に設定した時点で、同期信号の入力がない場合は、自動的に［OFF（フリーラン）］で動作します（設定は、［入力同期］のままです）。その後、同期信号が入力されても動作は［OFF（フリーラン）］のままで動作は変更されません。この場合、EDIUSのプレビューウィンドウでPlayerとRecorderをクリックし、アクティブなモニタに切り替えてください。同期信号を認識し、動作が［入力同期］に戻ります。

| | |
|---|---|
| **位相調整** | 同期モードの位相を調整します。 |
| **キャプチャ時は強制入力同期** | キャプチャ時の同期信号を強制的に入力同期に設定する場合にチェックを入れます。 |
| **標準の状態に戻す** | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

# 一般入出力設定

## 出力設定

| | |
|---|---|
| モニタフォーマット | モニタに関する設定です。SD ／ HD の切り替えを自動認識するモニタの場合は、［マルチフォーマット］を、SD ／ HD 端子が別々になっているモニタの場合は、［HD］または［SD］を設定します。 |
| 出力がここでの指定と食い違っている場合、出力をミュートする。 | 上記設定とタイムラインのビデオフォーマット設定が異なる場合に、信号を出力しない設定にします。 |
| セットアップレベル | NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を設定します。日本では 0IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。 |
| コンポーネント出力レベル | NTSC 時のコンポーネントレベルを選択します。 |
| Wide Screen Signaling を有効にする | Wide Screen Signal（WSS：アスペクト比を切り替えるための信号）に対応したテレビの場合は、自動でアスペクト比（4：3、または 16：9）が切り替わります。WSS が不要な場合は、チェックを外してください。 |

## バランスオーディオ設定

| | |
|---|---|
| 入力ヘッドルーム［dB］ | 基準の入力レベルからのヘッドルームを設定します。 |
| 入力レベル［dBu］ | 基準の入力レベルを選択します。 |
| 出力ヘッドルーム［dB］ | 基準の出力レベルからのヘッドルームを設定します。 |
| 出力レベル［dBu］ | 基準の出力レベルを設定します。 |
| 標準の状態に戻す | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

## DV デバイス設定

| | |
|---|---|
| SyncRec 開始タイミング補正 | コンピュータ側の再生開始のタイミング補正をフレーム数で設定します。 |
| SyncRec 終了タイミング補正 | VTR 側の録画停止のタイミング補正をフレーム数で設定します。 |
| 録画開始位置補正 | 録画開始の位置補正をステップ数で設定します。 |
| デッキが CueUp コマンドを持っている場合、使用する | チェックを入れるとデッキの CueUp 機能を使用します。 |
| 標準の状態に戻す | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

## 入力設定

※［キャプチャ］メニューで［SHX-E1-Composite］、［SHX-E1-S］または［SHX-E1-Component］を選択している場合に表示されます。

| | |
|---|---|
| 明るさ | 映像の明るさを調整します。値が小さいほど暗くなり、大きいほど明るくなります。 |
| コントラスト | 画像のコントラストを調整します。値が小さいほどコントラストは弱くなり、大きいほど強くなります。 |
| 色相 | 映像の色合いを調整します。値が小さいほど赤色が強くなり、値が大きいほど緑色が強くなります。 |
| 彩度 | 色の濃さを調整します。値が小さいほど色が薄くなり、大きいほど濃くなります。最小値の 0 に設定すると、完全なグレースケールになります。 |
| シャープネス | 映像の輪郭の先鋭さを調整します。値が小さいほど映像の輪郭がぼやけ、大きいほど輪郭が強調されます。 |
| 詳細画質調整 | ［詳細画質調整］ダイアログを表示します。 |
| セットアップレベル | NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を設定します。日本では 0IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。 |
| コンポーネントレベル | NTSC 時のコンポーネントレベルを選択します。 |
| ゲインコントロール | 映像輝度を設定します。マニュアルは輝度を手動で設定します。オートの場合は、自動で輝度を最適に調整します。 |

| | |
|---|---|
| オーディオマッピング | バランスオーディオ、あるいはアンバランスオーディオを指定します。 |
| コントロールマッピング | RS-422 リモートコントロールを使用するかどうかを選択します。 |
| 標準の状態に戻す | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

## [詳細画質調整] ダイアログ

### ◇ [３次元 / ２次元映像処理] タブ

| | |
|---|---|
| ３次元処理 | 3 次元ノイズリダクション、および 3 次元ビデオプロセッシング（コンポジット入力の場合のみ）の効果を設定します。 |
| ２次元処理 | 非線形ノイズ抽出フィルタによりノイズを除去します。3 次元処理とは別に設定することが可能です。 |
| 輝度成分ノイズ除去 | 輝度成分（Y）のノイズリダクションの効果を設定します。 |
| 色成分ノイズ除去 | 色成分（C）のノイズリダクションの効果を設定します。 |
| 標準の状態に戻す | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

### ◇［白 / 黒ゲイン］タブ

| | |
|---|---|
| 黒ゲイン自動調整 | 輝度信号に対し、低輝度部分のゲインを強めます。設定を強くするほど、黒が強調されます。［なし］に設定した場合、［適応レベル］、［しきい値］の項目は無効になります。 |
| 適応レベル | 黒伸張補正量を設定します。補正量が強いほど黒が強調されます。 |
| しきい値 | どのレベルの輝度（明るさ）まで黒く強調するかを設定します。カーソルを右に移動するほど明るいレベルに設定されます。 |
| 白ゲイン自動調整 | 輝度信号に対し、高輝度部分のゲインを弱めます。輝度が高く、白くつぶれてしまっているような部分の階調再現性を向上させます。［なし］に設定した場合、［適応レベル］、［しきい値］の項目は無効になります。 |
| 適応レベル | 白ゲイン制限補正量を設定します。制限量が強いほど白ゲインが低く補正されます。 |
| しきい値 | どのレベルの輝度（明るさ）まで白ゲインを低く補正するかを設定します。カーソルを左に移動するほど暗いレベルに設定されます。 |
| 標準の状態に戻す | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

◇［輪郭強調］タブ

| | |
|---|---|
| 輪郭強調（水平） | 水平方向（横線のエッジ）の輪郭補正を設定します。 |
| 輪郭強調（垂直） | 垂直方向（縦線のエッジ）の輪郭補正を設定します。 |
| 標準の状態に戻す | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

# Canopus HQ Codec 設定

## Canopus HQ Codec 設定

| | |
|---|---|
| オンライン（SuperFine） | 選択できません。 |
| オンライン（Fine） | 最も高画質な設定ですが、ファイルサイズも大きくなります。高画質の取り込みが必要な場合に選択します。 |
| オンライン（標準） | 通常はこの設定で十分な画質を得ることができます。 |
| オフライン | 選択できません。 |
| カスタム | チェックを入れると、［Q］、［Max size］を調節することができます。 |
| Q | 画質を調節します。4 から 19 の間で設定し、少ないほど高画質になります。 |
| Max size | 最大ビットレートを調節します。ノイズの多い画像はファイルサイズが不用意に大きくなる場合がありますが、これを制限するように設定ができます。設定値［100］%は、コーデック圧縮前と同じビットレートを表します。例えば、1440 × 1080 60i で、100% は約 750 Mbps です。この上限を 200 Mbps に制限する場合は［27］%に設定します。 |
| 標準の状態に戻す | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

# オーバーレイ設定

| | |
|---|---|
| ビデオオーバーレイの更新方法 | オーバーレイの表示が正しく行われない場合に、オーバーレイの表示方法を変更します。 |
| 速度優先 | システムの負荷が最も低くなります。PC モニタとのタイミングを合わせることが物理的に不可能なため、ティアリングが発生します。1 フィールドごとに画面の更新を行います。［タイプ 3］で正常に表示されない場合は、［タイプ 2］、［タイプ 1］の順にお試しください。［タイプ 3］が最も高速な表示になります。 |
| ティアリング / コーミングなし | インターレース映像を、プログレッシブ化して表示します。PC モニタ上でも、フィールド動作を行っています。細かな動きのチェックなどに使用します。1 フィールドごとに画面の更新を行います。 |
| ティアリングなし | ［ティアリング / コーミングなし］よりもシステムの負荷が低くなります。1 フレームごとに画面の更新を行います。 |

| | |
|---|---|
| **バスの負荷を低減させる** | ［ティアリングなし］、［ティアリング / コーミングなし］の場合、［バスの負荷を低減させる］チェックボックスが表示されます。バスビジーが発生する場合に［バスの負荷を低減させる］にチェックを入れると、CPU 負荷は上がりますが改善する場合があります。<br>※ティアリングの回避は、グラフィックドライバの機能で行います。<br>※［ティアリング / コーミングなし］を選択した場合、PC モニタのリフレッシュレートによっては、なめらかに表示されない場合があります。PC モニタは、ビデオのフレームレートの整数倍に近いリフレッシュレートで使用することを推奨します。 |

# Chapter 3

# Premiere Pro Plug-in

# 1 プラグイン使用の制限事項

Premiere Proでプラグインの機能をお使いいただく場合、以下の制限事項があります。プラグインをご使用になる場合には、必ずご確認ください。

## 再生時の制限

- Premiere Pro用Plug-inモジュールでは、Capture/VideoOut機能を提供するものです。再生時の処理速度はPremiere Pro自体の処理速度および環境に依存します。
- プロジェクト起動後、画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 5.1chオーディオの再生はできません。

## HQファイルについての制限

- タイムコードの打ち替えはできません。
- プロジェクトマネージャでファイルのトリミングはできません。
- コンソリデートは使用できません。

## 書き出し時の制限

- HDプリセットで、ファイル書き出しを行う場合に設定ダイアログを開くとPixelAspectが正しく設定されません。
- 設定ダイアログを開いてしまった場合は、［キャンセル］ボタンをクリックし、ダイアログを閉じてください。
- 5.1chオーディオのファイル出力はできません。
- テープ書き出しを行う場合は、キャプチャウィンドウを閉じてから行うようにしてください。キャプチャウィンドウが表示されている時は、テープ書き出しを行うことができません（メッセージを表示します）。

## キャプチャ時の制限

- 他のデバイスコントローラ、レコーダを当社製モジュールと併用する場合の動作保証はしていません。
- キャプチャを開始し、その後からストリームを流し込む途中キャプチャ機能はサポートしていません。
- デバイスコントローラのセットアップダイアログで、適切な入力用の設定ダイアログを出すには、Premiere Pro起動後にレコーダのオプションで取り込む入力プリセットを選択した後に行ってください。行わない場合、正しい設定ダイアログが表示されません。

## リアルタイム動作について

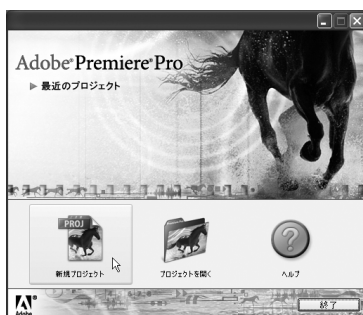
- クリップを一本化（レンダリング）すればリアルタイム動作が可能です。リアルタイムで動作しない部分は Premiere Pro の仕様です。

# 2 Premiere Pro の準備

## Premiere Pro の初期設定

プラグインをご使用いただくための準備を行います。

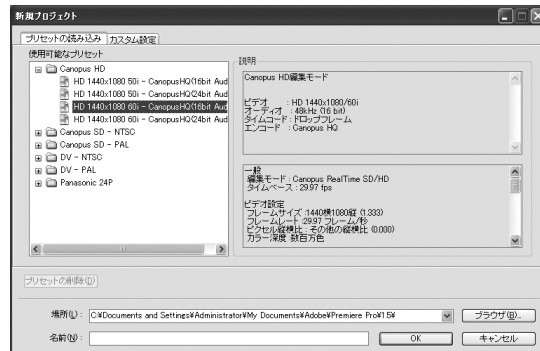
**1　Premiere Pro を起動し、［新規プロジェクト］をクリックします。**

※ Premiere Pro の起動については、Premiere Pro 付属の取扱説明書をご確認ください。

［新規プロジェクト］ダイアログが表示されます。

**POINT**

Premiere Pro のスクラッチディスク設定（編集メニュー→環境設定を選択し、表示される環境設定画面からスクラッチディスク選択）を確認してください。次に、物理的に独立しているハードディスクのドライブを各設定のシステムドライブから指定してください。2 個のハードディスクドライブに少なくとも 4 つのパーティションを準備することを推奨します。
4 つのパーティションは、1 番目は OS 用、2 番目はキャプチャしたビデオとオーディオ用、3 番目はビデオプレビュー / オーディオプレビュー用、4 番目は最適化したオーディオ用に使用します。
例：

- ディスク 1：Windows/Premiere Pro をインストール
- ディスク 2 / 区分 1：キャプチャしたビデオとオーディオ
- ディスク 2 / 区分 2：ビデオプレビュー / オーディオプレビュー
- ディスク 2 / 区分 3：最適化したオーディオ

## 2 プリセット、プロジェクト名を設定します。

プリセットを次の中から選択します。

### [Canopus HD]

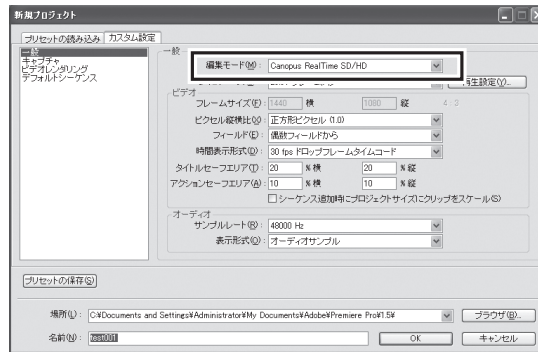
- HD 1440x1080 50i - Canopus HQ（16bit Audio）
  - Canopus HQ（24bit Audio）
- HD 1440x1080 60i - Canopus HQ（16bit Audio）
  - Canopus HQ（24bit Audio）

### [Canopus SD - NTSC]

- DV NTSC Standard - Canopus HQ
- DV NTSC Standard - MSDV
- DV NTSC Widescreen - Canopus HQ
- DV NTSC Widescreen - MSDV

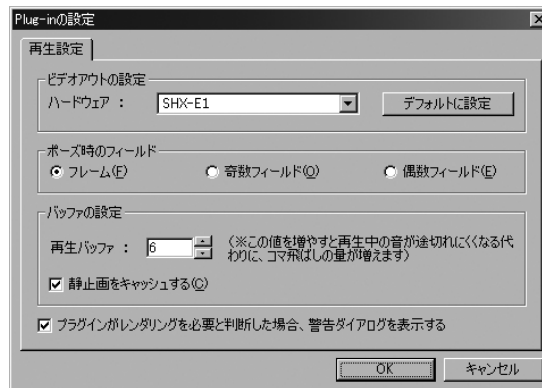
### [Canopus SD - PAL]

- DV PAL Standard - Canopus HQ
- DV PAL Standard - MSDV
- DV PAL Widescreen - Canopus HQ
- DV PAL Widescreen - MSDV

## 3 ［カスタム設定］タブをクリックします。［編集モード］に［Canopus RealTime SD/HD］が選択されていることを確認します。

**POINT** HD を選択している場合は、［カスタム設定］タブの設定を使用できません。

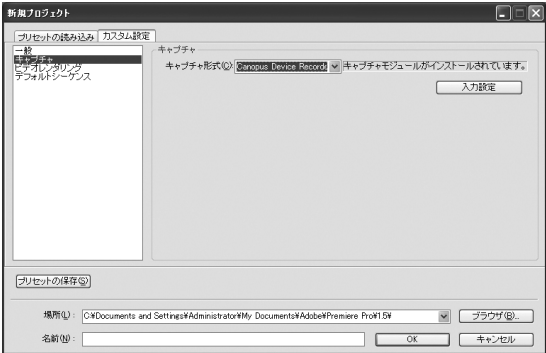
## 4 ［再生設定］をクリックします。

HD/SD のとき［Plug-in の設定］ダイアログが表示されます。

## 5 設定項目にチェックを入れ、［OK］ボタンをクリックします。

| | |
|---|---|
| **ポーズ時のフィールド** | 再生を停止した際、出力されるフィールドを設定します。 |
| **再生バッファ** | 再生が間に合わずコマ飛びする場合にフレーム数を増やすと状況が改善される場合があります。<br>※最小値は 6 で最大値が 20 となります。通常は変更する必要はありません。 |

| プラグインがレンダリングを必要と判断した場合、警告ダイアログを表示する | レンダリングが必要な場合、ダイアログを表示します。<br>※ダイアログが表示されなかった場合に、リアルタイム再生を保証するものではありません。タイムライン上にレンダリングしなければならないクリップが増えた時に警告するダイアログです。 |
|---|---|

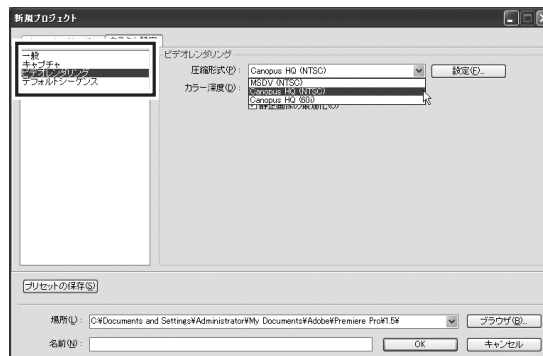
**POINT** ハードウェア設定については、「設定ダイアログ」P87 を参照してください。

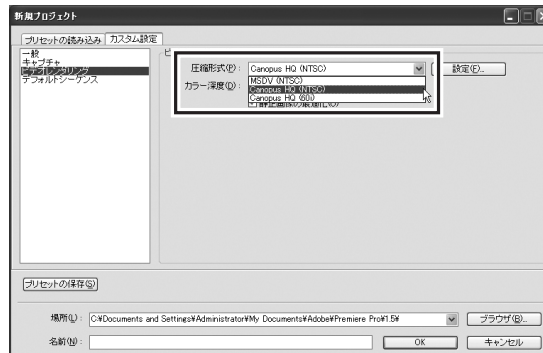
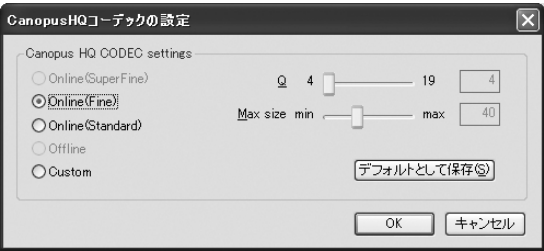
**6 左のボックスから［キャプチャ］を選択し、［キャプチャ形式］に［Canopus Device Recorder］が選択されていることを確認します。**

**7 ［入力設定］ボタンをクリックします。**

［入力設定］ダイアログが表示されます。

**8 項目を設定し、［OK］ボタンをクリックします。**

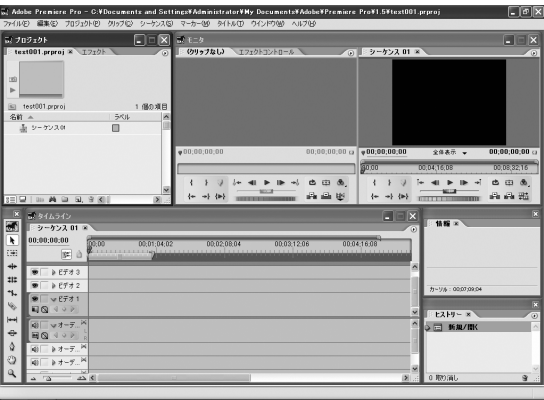
| プリセット | プリセットを選択します。アスペクト比等から選択します。 |
|---|---|
| シーン分割の条件 | キャプチャ時に AVI ファイルが自動的にシーン分割される条件を選択します。<br>シーン分割の条件は以下のとおりです。<br>• オーディオサンプリングレートの変化<br>• レコードタイムデータの変化<br>• タイムコードブレーク時<br>• アスペクト比の変化 |

**9** **左のボックスから［ビデオレンダリング］を選択します。**

［圧縮形式］を選択します。

- NTSC SD 選択時：［Canopus HQ（NTSC）］、または［MSDV（NTSC）］
- PAL SD 選択時：［Canopus HQ（PAL）］、または［MSDV（PAL）］

## 10 ［設定］ボタンをクリックすると［CanopusHQ コーデックの設定］ダイアログが開きます。設定を行い、［OK］ボタンをクリックします。

**POINT** Canopus HQ コーデックについては、「Canopus HQ Codec 設定」P97 を参照してください。

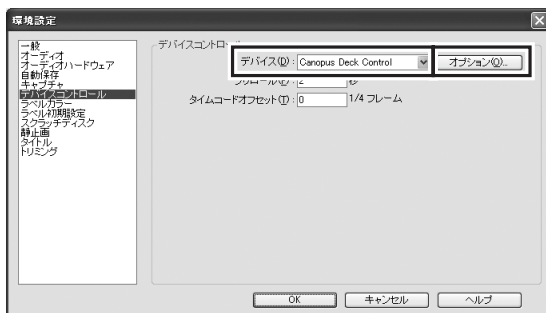
**POINT** HD を選択している場合は、［カスタム設定］タブの設定を使用できません。
HD で［Canopus HQ Codec］の設定を行う場合は、一度プロジェクトを作成します。次に［プロジェクト］メニューから［プロジェクト設定］に進み、［ビデオレンダリング］の［設定］を選択し、設定を行います。

## 11 プロジェクト名を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

Premiere Pro のメインウィンドウが表示されます。

## デバイスの設定

**1** ［編集］メニューの［環境設定］から［デバイスコントロール］を選択します。

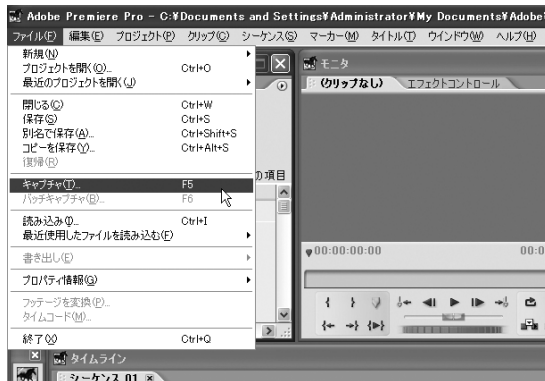
［環境設定］ダイアログが表示されます。

**2** ［デバイス］に［Canopus Deck Control］が選択されていることを確認し、［オプション］ボタンをクリックします。

［設定］ダイアログが表示されます。

**POINT** ハードウェア設定については、「設定ダイアログ」P87 を参照してください。

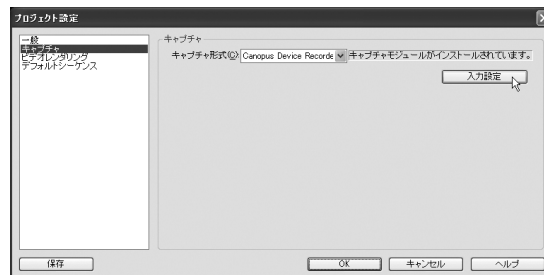
**3** 設定を有効にするには、［OK］ボタンをクリックします。

# キャプチャ

**1** ［ファイル］メニューから［キャプチャ］を選択します。

［キャプチャ］ウィンドウが開きます。

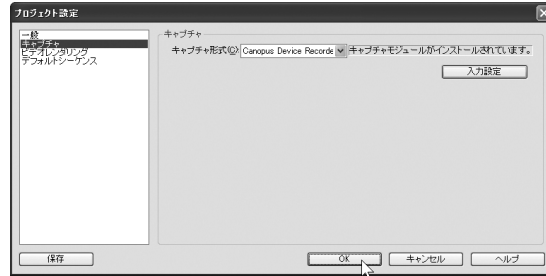
**2 ［設定］タブの［編集］ボタンをクリックし、入力先を決定します。**

［プロジェクト設定］ダイアログが表示されます。

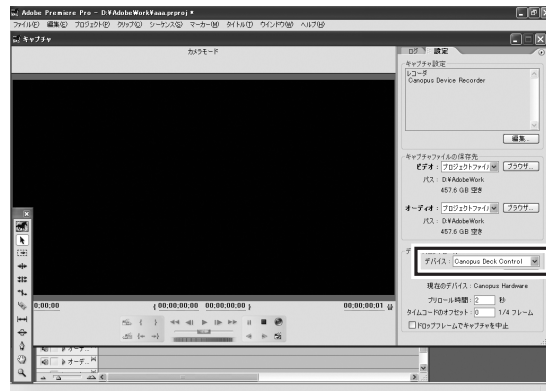
**3 左側のメニューから［キャプチャ］を選択し、［入力設定］ボタンをクリックします。**

［入力設定］ダイアログが表示されます。

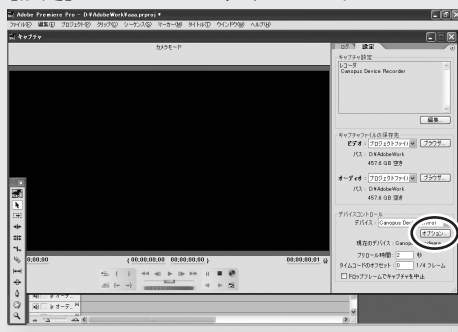
## 4 デバイス入力先、およびプリセットを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

ダイアログが閉じます。

## 5 [OK] ボタンをクリックします。

ダイアログが閉じます。

## 6 デバイスコントロールのデバイス名が［Canopus Deck Control］になっていることを確認します。

異なるデバイス名が表示されている場合は、ドロップダウンリストから選択します。

**POINT** **オプション設定**

デッキの設定を行う場合は、［オプション］ボタンをクリックします。［設定］ダイアログが表示されます。

設定後、［OK］ボタンをクリックすると［設定］ダイアログは閉じます。ハードウェア設定については、「設定ダイアログ」P87 を参照してください。

## 7 ［録画］ボタンをクリックします。

キャプチャを開始します。

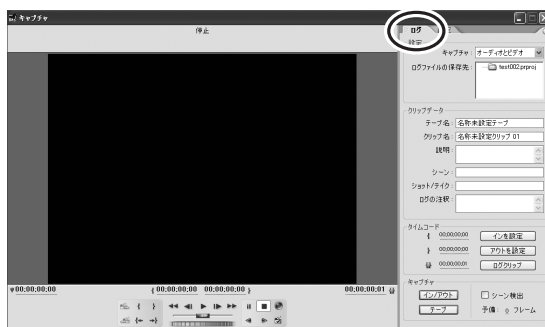
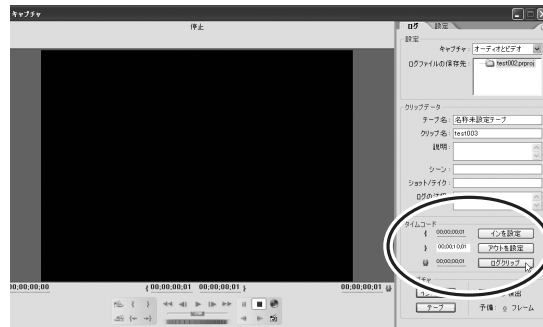
## 8 ［停止］ボタンをクリックし、キャプチャを終了します。

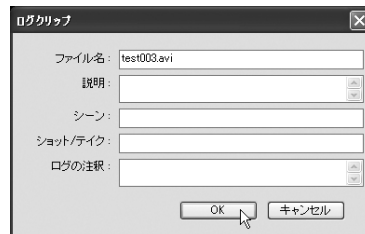
## バッチキャプチャを行う場合

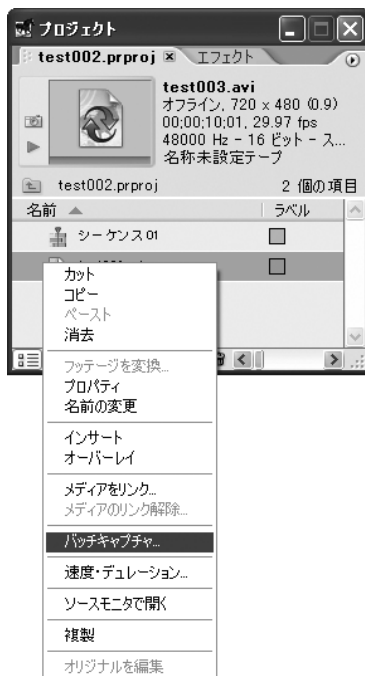
※ デッキコントロール不能なアナログデバイスを除きます。

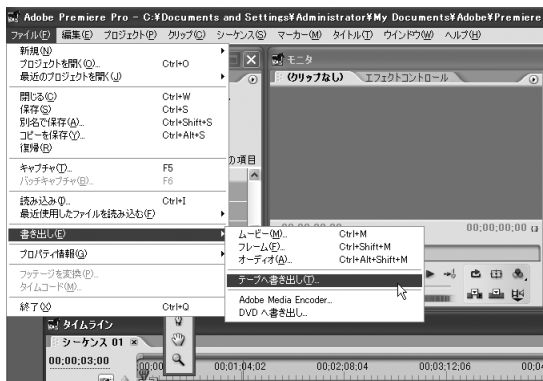
## 1 「キャプチャ」の手順 1から4を行います。

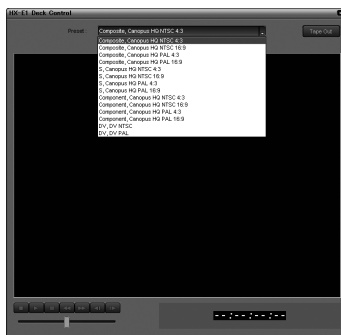
**POINT** キャプチャについては、「キャプチャ」P77 を参照してください。

## 2 ［キャプチャ］ダイアログで、［ログ］タブを選択します。

**3** タイムコード（In/Out）を設定し、[ログクリップ] ボタンをクリックします。

［ログクリップ］ダイアログが表示されます。

**4** ファイル名、説明等を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

プロジェクトにリストが表示されます。

**5** リストの右クリックメニューから［バッチキャプチャ］を選択します。

# テープへ書き出し

**1** ［ファイル］メニューから［書き出し］へ進み、［テープへ書き出し］を選択します。

［HX-E1 Deck Control］ダイアログが開きます。

**2** Preset を選択します。

## 3 ［Tape Out］ボタンをクリックします。

書き出しを開始します。

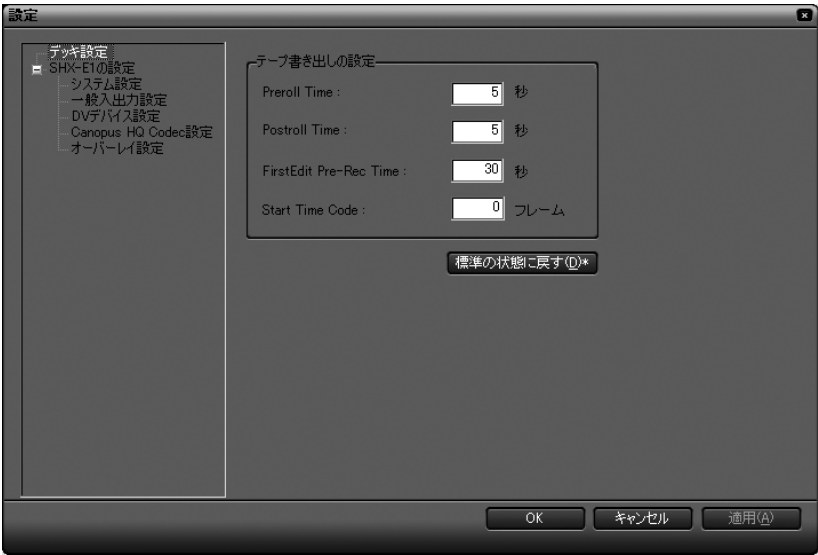
# テープ出力ウィザード

9ピンコントロールを行っている場合（アナログデバイス）は、書き出し前に［テープ出力ウィザード］ダイアログが表示されます。設定後、［次へ］ボタンをクリックします。

| | |
|---|---|
| アセンブル | テープ（タイムコード有り）に続けて追記します。 |
| ファーストエディット | テープ（タイムコード無し、または新規上書き）に書き出します。 |
| インサート | テープに追記（挿入）します。 |

| 書き込み開始点 | テープの書き込み位置を設定します。 |
|---|---|
| TC プリセット | Assemble を選択、または Insert を選択し、TC にチェックを入れた場合に、テープに書き込むタイムコードを設定します。 |
| 調走精度 | Assemble、または Insert を選択した場合にテープへ書き込むフレームずれの許容値を設定します。<br>**Exact：**<br>ずれを許容しません。フレームずれが発生すると書き出しはできません。<br>**Rough：**<br>フレームずれ± 1 を許容します。 |
| UB プリセット | ユーザーズビットを追加します。 |
| Regen | テープの Rec In 点で取得したユーザービットを、書き出しの開始点（プリセット値）として設定します。 |

# 設定ダイアログ

## デッキ設定

### テープ書き出しの設定

| | |
|---|---|
| Preroll Time | キャプチャ前のデッキの予備動作時間を設定します。 |
| Postroll Time | キャプチャ後のデッキの予備動作時間を設定します。 |
| FirstEdit Pre-Rec Time | FirstEdit 時の、下書き（のりしろ）の長さを設定します。 |
| Start Time Code | テープの書き込み位置を設定します。 |
| 標準の状態に戻す | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

# システム設定

| | |
|---|---|
| RT 再生バッファ | リアルタイム再生時に使用するバッファのフレーム数（32、48、64、96）を設定します。フレーム数を大きくするとリアルタイム再生がしやすくなりますが、その分メモリを消費します。 |
| 同期信号 | ［REF 同期］、［入力同期］、［OFF（フリーラン）］の中から同期信号を選択します。指定された同期信号で同期が取れない場合には、自動的に適切なモードに移行します。<br>たとえば再生時に選択した同期信号が入力されていない場合は、フリーランモードになります。キャプチャ時に［OFF（フリーラン）］が選択されている場合は、自動的に入力同期モードになります。<br>下段には同期状態を表示します。［NO SYNC/SYNC OK］は、現在のシステムが、入力されている信号と同期がとれているかどうかを示します。［NO SIGNAL/SIGNAL OK］は、入力端子に何らかの入力があるかどうかを示します。 |

POINT ［入力同期］に設定した時点で、同期信号の入力がない場合は、自動的に［OFF（フリーラン）］で動作します（設定は、［入力同期］のままです）。その後、同期信号が入力されても動作は［OFF（フリーラン）］のままで動作は変更されません。この場合、EDIUSのプレビューウィンドウでPlayerとRecorderをクリックし、アクティブなモニタに切り替えてください。同期信号を認識し、動作が［入力同期］に戻ります。

| | |
|---|---|
| **位相調整** | 同期モードの位相を調整します。 |
| **キャプチャ時は強制入力同期** | キャプチャ時の同期信号を強制的に入力同期に設定する場合にチェックを入れます。 |
| **標準の状態に戻す** | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

# 一般入出力設定

## 出力設定

| | |
|---|---|
| モニタフォーマット | モニタに関する設定です。SD ／ HD の切り替えを自動認識するモニタの場合は、［マルチフォーマット］を、SD ／ HD 端子が別々になっているモニタの場合は、［HD］または［SD］を設定します。 |
| 出力がここでの指定と食い違っている場合、出力をミュートする。 | 上記設定とタイムラインのビデオフォーマット設定が異なる場合に、信号を出力しない設定にします。 |
| セットアップレベル | NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を設定します。日本では 0IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。 |
| コンポーネント出力レベル | NTSC 時のコンポーネントレベルを選択します。 |
| Wide Screen Signaling を有効にする | Wide Screen Signal（WSS：アスペクト比を切り替えるための信号）に対応したテレビの場合は、自動でアスペクト比（4：3、または 16：9）が切り替わります。WSS が不要な場合は、チェックを外してください。 |

## バランスオーディオ

| | |
|---|---|
| 入力ヘッドルーム [dB] | 基準の入力レベルからのヘッドルームを設定します。 |
| 入力レベル［dBu］ | 基準の入力レベルを選択します。 |
| 出力ヘッドルーム [dB] | 基準の出力レベルからのヘッドルームを設定します。 |
| 出力レベル［dBu］ | 基準の出力レベルを設定します。 |
| 標準の状態に戻す | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

## DV デバイス設定

| | |
|---|---|
| SyncRec 開始タイミング補正 | コンピュータ側の再生開始のタイミング補正をフレーム数で設定します。 |
| SyncRec 終了タイミング補正 | デッキ側の録画停止のタイミング補正をフレーム数で設定します。 |
| 録画開始位置補正 | 録画開始の位置補正をステップ数で設定します。 |
| デッキが CueUp コマンドを持っている場合、使用する | チェックを入れるとデッキの CueUp 機能を使用します。 |
| 標準の状態に戻す | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

# 入力設定

| | |
|---|---|
| 明るさ | 映像の明るさを調整します。値が小さいほど暗くなり、大きいほど明るくなります。 |
| コントラスト | 画像のコントラストを調整します。値が小さいほどコントラストは弱くなり、大きいほど強くなります。 |
| 色相 | 映像の色合いを調整します。値が小さいほど赤色が強くなり、値が大きいほど緑色が強くなります。 |
| 彩度 | 色の濃さを調整します。値が小さいほど色が薄くなり、大きいほど濃くなります。最小値の 0 に設定すると、完全なグレースケールになります。 |
| シャープネス | 映像の輪郭の先鋭さを調整します。値が小さいほど映像の輪郭がぼやけ､大きいほど輪郭が強調されます。 |
| 詳細画質調整 | ［詳細画質調整］ダイアログを表示します。 |
| セットアップレベル | NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を設定します。日本では 0IRE､北米では 7.5IRE が使用されます。 |
| コンポーネントレベル | NTSC 時のコンポーネントレベルを選択します。 |
| ゲインコントロール | 映像輝度を設定します。マニュアルは輝度を手動で設定します。オートの場合は、自動で輝度を最適に調整します。 |
| オーディオマッピング | バランスオーディオ、あるいはアンバランスオーディオを指定します。 |

| コントロールマッピング | RS-422 リモートコントロールを使用するかどうかを選択します。 |
|---|---|
| 標準の状態に戻す | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

## ［詳細画質調整］ダイアログ

### ◇［3次元 / 2次元映像処理］タブ

| 3 次元処理 | 3 次元ノイズリダクション、および 3 次元ビデオプロセッシング（コンポジット入力の場合のみ）の効果を設定します。 |
|---|---|
| 2 次元処理 | 非線形ノイズ抽出フィルタによりノイズを除去します。3 次元処理とは別に設定することが可能です。 |
| 輝度成分ノイズ除去 | 輝度成分（Y）のノイズリダクションの効果を設定します。 |
| 色成分ノイズ除去 | 色成分（C）のノイズリダクションの効果を設定します。 |
| 標準の状態に戻す | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

### ◇［白 / 黒ゲイン］タブ

| | |
|---|---|
| 黒ゲイン自動調整 | 輝度信号に対し、低輝度部分のゲインを強めます。設定を強くするほど、黒が強調されます。［なし］に設定した場合、［適応レベル］、［しきい値］の項目は無効になります。 |
| 適応レベル | 黒伸張補正量を設定します。補正量が強いほど黒が強調されます。 |
| しきい値 | どのレベルの輝度（明るさ）まで黒く強調するかを設定します。カーソルを右に移動するほど明るいレベルに設定されます。 |
| 白ゲイン自動調整 | 輝度信号に対し、高輝度部分のゲインを弱めます。輝度が高く、白くつぶれてしまっているような部分の階調再現性を向上させます。［なし］に設定した場合、［適応レベル］、［しきい値］の項目は無効になります。 |
| 適応レベル | 白ゲイン制限補正量を設定します。制限量が強いほど白ゲインが低く補正されます。 |
| しきい値 | どのレベルの輝度（明るさ）まで白ゲインを低く補正するかを設定します。カーソルを左に移動するほど暗いレベルに設定されます。 |
| 標準の状態に戻す | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

◇［輪郭強調］タブ

| | |
|---|---|
| 輪郭強調（水平） | 水平方向（横線のエッジ）の輪郭補正を設定します。 |
| 輪郭強調（垂直） | 垂直方向（縦線のエッジ）の輪郭補正を設定します。 |
| 標準の状態に戻す | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

# Canopus HQ Codec 設定

## Canopus HQ Codec 設定

| | |
|---|---|
| オンライン（SuperFine） | 選択できません。 |
| オンライン（Fine） | 最も高画質な設定ですが、ファイルサイズも大きくなります。高画質の取り込みが必要な場合に選択します。 |
| オンライン（標準） | 通常はこの設定で十分な画質を得ることができます。 |
| オフライン | 選択できません。 |
| カスタム | チェックを入れると、［Q］、［Max size］を調節することができます。 |
| Q | 画質を調節します。4 から 30 の間で設定し、少ないほど高画質になります。 |
| Max size | 最大ビットレートを調節します。ノイズの多い画像はファイルサイズが不用意に大きくなる場合がありますが、これを制限するように設定ができます。設定値［100］%は、コーデック圧縮前と同じビットレートを表します。<br>たとえば、1440 × 1080 60i で、100%は約 750 Mbps です。この上限を 200 Mbps に制限する場合は［27］%に設定します。 |
| 標準の状態に戻す | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

## オーバーレイ設定

| ビデオオーバーレイの更新方法 | オーバーレイの表示が正しく行われない場合に、オーバーレイの表示方法を変更します。 |
|---|---|
| 速度優先 | システムの負荷が最も低くなります。PC モニタとのタイミングを合わせることが物理的に不可能なため、ティアリングが発生します。1 フィールドごとに画面の更新を行います。[タイプ 3] で正常に表示されない場合は、[タイプ 2]、[タイプ 1] の順にお試しください。[タイプ 3] が最も高速な表示になります。 |
| ティアリング / コーミングなし | インターレース映像を、プログレッシブ化して表示します。PC モニタ上でも、フィールド動作を行っています。細かな動きのチェックなどに使用します。1 フィールドごとに画面の更新を行います。 |
| ティアリングなし | [ティアリング / コーミングなし] よりもシステムの負荷が低くなります。1 フレームごとに画面の更新を行います。 |

| | |
|---|---|
| **バスの負荷を低減させる** | ［ティアリングなし］、［ティアリング / コーミングなし］の場合、［バスの負荷を低減させる］チェックボックスが表示されます。バスビジーが発生する場合に［バスの負荷を低減させる］にチェックを入れると、CPU 負荷は上がりますが改善する場合があります。<br>※ティアリングの回避は、グラフィックドライバの機能で行います。<br>※［ティアリング / コーミングなし］を選択した場合、PC モニタのリフレッシュレートによっては、なめらかに表示されない場合があります。PC モニタは、ビデオのフレームレートの整数倍に近いリフレッシュレートで使用することを推奨します。 |

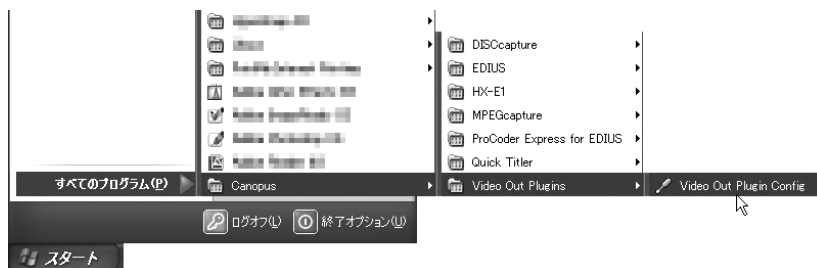
Chapter 4

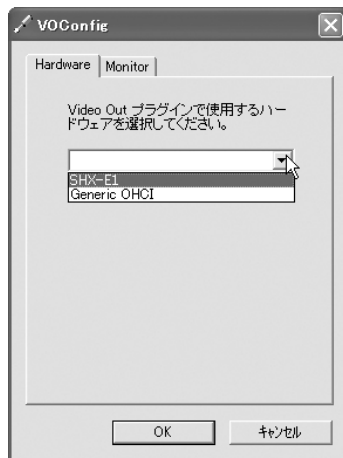
# Video-Out プラグイン

# 1 Video-Out プラグインの設定

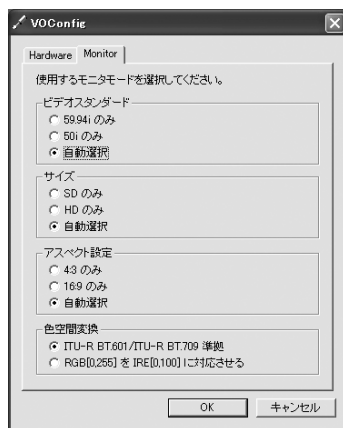
## 使用前の前準備

Video-Out プラグインを使用する前に、以下の設定を行います。

**1** ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］から、［Canopus］→［Video Out Plugins］→［Video Out Plugin Config］を選択します。

［VOConfig］ダイアログが表示されます。

**2** ［Hardware］タブで［SHX-E1］を選択します。

### 3 ［Monitor］タブを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

ハードウェアが出力できるフォーマットの中から、出力しようとする画像サイズに最も適合するフォーマットでビデオ出力します。ビデオスタンダード、サイズ、アスペクト設定を限定することで、出力されるフォーマットを絞り込むことができます。

お使いの Video Monitor がサポートしている入力フォーマットに合わせて設定してください。たとえば、NTSC のみサポートしている場合には、［59.94i のみ］を選択します。

**POINT** Video-Out プラグインの映像出力は、SD の場合、HD の場合で異なります。

- SD の場合
  コンポーネント、S ビデオ、コンポジットに出力されます。
- HD の場合
  コンポーネントに出力されます。

# 2 After Effects Video-Out プラグイン

## After Effects Video-Out プラグインの使用

After Effects のコンポジションウィンドウに表示されている映像を、メインボード、またはエクスパンションボードの映像出力インターフェースからビデオモニタに出力し、確認しながら作業が行えます。

### 制限事項について

- 設定ダイアログで設定を変更しても、変更はすぐに反映されません。コンポジションウィンドウ内をクリックする、あるいはタイムレイアウトウィンドウでスクラブするといった操作を行うと設定変更が反映されます。
- RAM プレビュー時に再生がスムーズにならない場合は、メニューの［編集］→［環境設定］→［キャッシュ］で開くダイアログから［イメージキャッシュサイズ］の値を小さくしてください。
- 伸縮・クロップはサポートされません。
- 最大表示にしている場合、RAM プレビューでリアルタイムにならない場合があります。

**POINT**
- コンポジション設定は、お使いのビデオスタンダードにあわせて、以下のプリセットをお使いください。

  **[HD]**
  プリセット：HDTV、1280x720
  ピクセル縦横比：正方形ピクセル
  フレームレート：29.97 フレーム／秒
  プリセット：カスタム※
  幅：1920
  高さ：1080
  ピクセル縦横比：正方形ピクセル
  フレームレート：29.97 フレーム／秒
  ※プリセットは使用状況に合わせて設定してください。

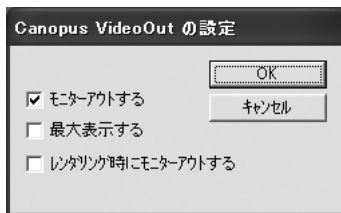
  **[SD]**
  プリセット：NTSC D1、720x480 もしくは NTSC DV、720x480
  ピクセル縦横比： D1/DV NTSC (0.9)
  フレームレート： 29.97 フレーム／秒
  プリセット： PAL D1/DV、720x576
  ピクセル縦横比： D1/DV PAL (1.07)
  フレームレート： 25 フレーム／秒

**POINT**
- レンダーキューの出力モジュールは以下の設定を推奨します。
  ［HD］出力モジュール : カスタム
  形式 :Video For Windows
  形式オプション :Canopus HQ
  オーディオ出力 : 48.000 kHz 16 ビットステレオ
  ［SD］出力モジュール : カスタム
  形式 : Video For Windows
  形式オプション : Canopus DV
  オーディオ出力 : 48.000 kHz 16 ビットステレオ

## 1 After Effects を起動し、メニューから［編集］を選択します。

※ あらかじめ、メインボード、またはエクスパンションボードの映像出力端子とテレビモニタを接続しておきます。

## 2 ［編集］メニューの［環境設定］から［Canopus VideoOut］を選択します。

## 3 ［Canopus VideoOut の設定］ダイアログを設定します。

| | |
|---|---|
| モニターアウトする | チェックを入れるとコンポジションウィンドウをモニタ出力します。 |
| 最大表示する | チェックを入れるとコンポジションウィンドウを画面いっぱいに拡大して表示します。 |
| レンダリング時にモニターアウトする | レンダリング中の映像をモニタ出力します。 |

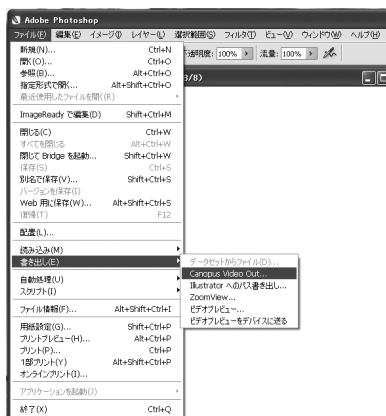
# 3 Photoshop Video-Out プラグイン

## Photoshop Video-Out プラグインの使用

Photoshop に表示されている画像を、メインボード、またはエクスパンションボードの映像出力からビデオモニタに出力し、Photoshop で作成した画像をビデオ素材に使用したり、あらかじめビデオに最適化した色合いに調整しておくなどの作業が行えます。

**1 Photoshop を起動し、ビデオ出力を行うファイルを開きます。**

※ あらかじめ、メインボード、またはエクスパンションボードの映像出力端子とテレビモニタを接続しておきます。

**2 ［ファイル］メニューの［書き出し］から［Canopus Video Out］を選択します。**

ビデオモニタに静止画が表示されます。

> **POINT** Photoshop CS では、［書き出し］コマンドをアクションで実行することができません。キーボードのショートカットでご使用になる場合は、［編集］-［キーボードショートカット］で登録する必要があります。

Chapter 5

# ADVC Mode Controller

# 1 ADVC Mode Controllerの機能

**POINT** ADVC Mode Controllerは、エクスパンションボード装着時に使用できるアプリケーションソフトウェアです。

### ADVCモード

ADVCモードは、VELXUSをコンバータとして使用します。ADVCモード中は、EDIUSからVELXUSを認識しません。

### EDIUSモード

VELXUSをEDIUSから使用します。ADVC Mode Controllerを使用しない場合と同様の動作モードです。

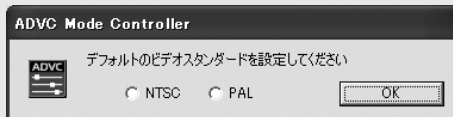
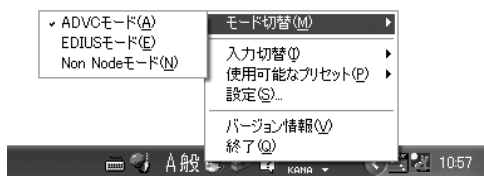
### Non Nodeモード

OHCI対応アプリケーションソフトから、エクスパンションボードのDV端子に接続したDVカメラを正常に操作できない場合、このモードにすると問題が解決する場合があります。

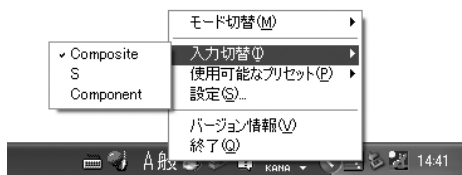
## ADVCモードの使用

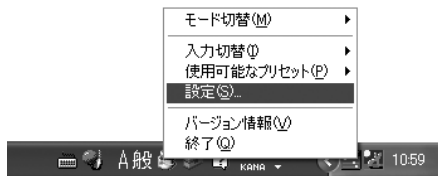
**1　ADVC Mode Controllerを起動します。**

起動するとタスクトレイに常駐します。

**POINT** ADVC Mode Controllerを初めて起動したときに、次のダイアログが表示されます。ご使用の環境に合わせてビデオスタンダードを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

## 2 アイコンをクリックし、［モード切替］から［ADVC モード］を選択します。

※ 編集アプリケーションソフトの起動中はモード切替を行わないでください。

**POINT** EDIUS モードで使用する場合は、EDIUS を起動する前に、ADVC Mode Controller を起動し、モード選択をしておきます。

## 3 入力先を選択します。

## 4 プリセットを選択します。

## 5 設定ダイアログを開き、設定を行います。

**POINT** ADVC モード設定については、「設定ダイアログ」P110 を参照してください。

# 設定ダイアログ

設定内容は、ADVC モードで有効になります。

## Composite 入力 /S 入力 /Component 入力

| 明るさ | 映像の明るさを調整します。値が小さいほど暗くなり、大きいほど明るくなります。 |
|---|---|
| コントラスト | 画像のコントラストを調整します。値が小さいほどコントラストは弱くなり、大きいほど強くなります。 |
| 色相 | 映像の色合いを調整します。値が小さいほど赤色が強くなり、値が大きいほど緑色が強くなります。 |
| 彩度 | 色の濃さを調整します。値が小さいほど色が薄くなり、大きいほど濃くなります。最小値の 0 に設定すると、完全なグレースケールになります。 |
| シャープネス | 映像の輪郭の先鋭さを調整します。値が小さいほど映像の輪郭がぼやけ、大きいほど輪郭が強調されます。 |
| 詳細画質調整 | ［詳細画質調整］ダイアログを表示します。 |
| セットアップレベル | NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を設定します。日本では 0IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。 |
| コンポーネントレベル | NTSC 時のコンポーネントレベルを選択します。 |
| ゲインコントロール（マニュアル / オート） | 映像輝度を設定します。マニュアルは輝度を手動で設定します。オートの場合は、自動で輝度を最適に調整します。 |

| | |
|---|---|
| **オーディオマッピング** | バランスオーディオ、あるいはアンバランスオーディオを指定します。 |
| **コントロールマッピング** | RS-422 リモートコントロールを使用するかどうかを選択します。 |
| **標準の状態に戻す** | *のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

## [詳細画質調整] ダイアログ

### ◇ [3次元 / 2次元映像処理] タブ

| | |
|---|---|
| **3 次元処理** | 3 次元ノイズリダクション、および 3 次元ビデオプロセッシング（コンポジット入力の場合のみ）の効果を設定します。 |
| **2 次元処理** | 非線形ノイズ抽出フィルタによりノイズを除去します。3 次元処理とは別に設定することが可能です。 |
| **輝度成分ノイズ除去** | 輝度成分（Y）のノイズリダクションの効果を設定します。 |
| **色成分ノイズ除去** | 色成分（C）のノイズリダクションの効果を設定します。 |
| **標準の状態に戻す** | *のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

### ◇［白 / 黒ゲイン］タブ

| | |
|---|---|
| **黒ゲイン自動調整** | 輝度信号に対し、低輝度部分のゲインを強めます。設定を強くするほど、黒が強調されます。［なし］に設定した場合、［適応レベル］、［しきい値］の項目は無効になります。 |
| **適応レベル** | 黒伸張補正量を設定します。補正量が強いほど黒が強調されます。 |
| **しきい値** | どのレベルの輝度（明るさ）まで黒く強調するかを設定します。カーソルを右に移動するほど明るいレベルに設定されます。 |
| **白ゲイン自動調整** | 輝度信号に対し、高輝度部分のゲインを弱めます。輝度が高く、白くつぶれてしまっているような部分の階調再現性を向上させます。［なし］に設定した場合、［適応レベル］、［しきい値］の項目は無効になります。 |
| **適応レベル** | 白ゲイン制限補正量を設定します。制限量が強いほど白ゲインが低く補正されます。 |
| **しきい値** | どのレベルの輝度（明るさ）まで白ゲインを低く補正するかを設定します。カーソルを左に移動するほど暗いレベルに設定されます。 |
| **標準の状態に戻す** | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

### ◇［輪郭強調］タブ

| | |
|---|---|
| **輪郭強調（水平）** | 水平方向（縦線のエッジ）の輪郭補正を設定します。 |
| **輪郭強調（垂直）** | 垂直方向（横線のエッジ）の輪郭補正を設定します。 |
| **標準の状態に戻す** | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

# 一般入出力

## 出力設定

| | |
|---|---|
| セットアップレベル | NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を設定します。日本では 0IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。 |
| コンポーネント出力レベル | NTSC 時のコンポーネントレベルを選択します。 |
| Wide Screen Signaling を有効にする | Wide Screen Signal（WSS：アスペクト比を切り替えるための信号）に対応したテレビの場合は、自動でアスペクト比（4：3、または 16：9）が切り替わります。WSS が不要な場合は、チェックを外してください。 |

## バランスオーディオ設定

| | |
|---|---|
| 入力ヘッドルーム [dB] | 基準の入力レベルからのヘッドルームを設定します。 |
| 入力レベル［dBu］ | 基準の入力レベルを選択します。 |
| 出力ヘッドルーム [dB] | 基準の出力レベルからのヘッドルームを設定します。 |
| 出力レベル［dBu］ | 基準の出力レベルを設定します。 |
| 標準の状態に戻す | ＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。 |

# 付　　録

# 1 ハードウェア仕様

## メインボード（SHX-E1）

<table>
<tr><td>PCI 規格</td><td colspan="2">PCI Spec. Revision 2.1　HD/SD 編集時（64bit/66MHz）<br>SD 編集のみ（32bit/33MHz 対応）</td></tr>
<tr><td>デジタルビデオ</td><td colspan="2">DV 端子（DV4pin × 1）<br>※HDV の入出力にはエクスパンションボード、または OHCI ボードが必要です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">アナログビデオ</td><td>入力 *1</td><td>コンポジット端子（BNC）× 1<br>S 端子（ミニ DIN4 ピン）× 1<br>コンポーネント端子（BNC）× 3</td></tr>
<tr><td>出力 *1</td><td>コンポジット端子（BNC）× 1<br>S 端子（ミニ DIN4 ピン）× 1<br>コンポーネント端子（BNC）× 3</td></tr>
<tr><td rowspan="2">アナログオーディオ</td><td>入力 *1</td><td>アンバランスオーディオ（RCA ピン）× 2<br>バランスオーディオ（XLR）× 2</td></tr>
<tr><td>出力 *1</td><td>アンバランスオーディオ（RCA ピン）× 2<br>バランスオーディオ（XLR）× 2</td></tr>
<tr><td>リファレンス入力 *1</td><td colspan="2">BNC × 1</td></tr>
<tr><td>REMOTE *1</td><td colspan="2">RS422（D-Sub9）× 1</td></tr>
<tr><td>サイズ</td><td colspan="2">212 mm（幅 107mm）</td></tr>
<tr><td>最大消費電流</td><td colspan="2">32bit PCI（SD 編集時）+5V：2.2A、+12V：440mA、-12V：160mA<br>64bit PCI（HD 編集時）+5V：2.4A、+12V：440mA、-12V：160mA</td></tr>
<tr><td>質量</td><td colspan="2">約 250 g</td></tr>
</table>

*1 メインボードコネクタ（D-Sub62 × 1）から専用マルチ I/O ケーブルで接続

# エクスパンションボード（HX-HD1）

| | | |
|---|---|---|
| **PCI 規格** | PCI Spec. Revision 2.1（32bit/33MHz 対応） | |
| **アナログビデオ** | 出力 | HD/SD コンポーネント（BNC × 3）<br>※メインボードのコンポーネント出力と同時使用が可能。 |
| **アナログオーディオ** | 出力 | アンバランスオーディオ 2ch（ピンジャック × 2）<br>※メインボードのオーディオ出力と同時使用が可能。 |
| **サイズ** | 120 mm（幅 93 mm） | |
| **最大消費電流** | +5V：200mA、+12V：100mA、-12V：100mA | |
| **質量** | 約 110 g | |

# アンバランス入出力

| 出力ヘッドルーム [dB] | 出力レベル［dBu］ | アンバランス出力レベル [Vrms] |
|---|---|---|
| +4 | 20 | 2.0 |
| | 18 | 1.6 |
| | 16 | 1.26 |
| 0 | 20 | 1.26 |
| | 18 | 1.0 |
| | 16 | 0.8 |

※アンバランス入力選択時、アンバランス入力レベルは 2.0［Vrms］固定です。
※アンバランス出力レベルは、バランスオーディオの出力ヘッドルーム、出力レベル設定により変動します。

# 2 コーデックについて

## 推奨コーデック

| 推奨コーデック | 用途 |
| --- | --- |
| DVCPRO HD | DVCPRO HD（IEEE1394 経由で使用時） |
| DVCPRO50 | DVCPRO 50 |
| Canopus DV | DV AVI |
| Canopus HQ | HDCAM、HDV(1080i/720p)、DVCPRO HD |
| Uncompressed D1 | D1、Digital Betacam、Betacam、MPEG IMX（非圧縮） |
| Canopus Lossless | D1、Digital Betacam、Betacam、MPEG IMX（可逆圧縮） |

## Canopus HQ

- HD、SD 両対応
- 推奨入力デッキ HDCAM ／ HDV

画質一定の圧縮方式でハードディスクへの書き込みビットレートが変化するコーデックです。単純な画像を圧縮する場合は低ビットレート、複雑な映像を圧縮する場合は高ビットレートに変化します。HDCAM（140 Mbps）や HDV（25 Mbps）素材のキャプチャに使用します。
非常に複雑な映像が入力された場合は高ビットレートになり、ハードディスクへのキャプチャが間に合わない場合がありますので、最大ビットレートを制限しています。
［Online（標準)］と［Online（Fine)］の 2 種類プリセットされています。デフォルトは［Online（標準)］です。
それぞれの最高ビットレートは次のようになります。

- ［Online（標準)］設定時 : 約 220 Mbps
- ［Online（Fine)］設定時 : 約 300 Mbps

## DVCPRO HD

- HD のみ対応
- 推奨入力デッキ DVCPRO HD

パナソニック製 DVCPRO HD と同等のコーデックです。DVCPRO HD のデッキ等に使用します。設定項目はありません。ビットレート一定型のコーデックでビットレートは 100 Mbps となります。

## DVCPRO50

• SD のみ対応
• 推奨入力デッキ DVCPRO 50
パナソニック製 DVCPRO 50 と同等のコーデックです。DVCPRO 50 対応デッキからの入出力に使用します。設定項目はありません。ビットレート一定型のコーデックでビットレートは 50 Mbps となります。

## Uncompressed D1

• SD のみ対応
• 推奨入力デッキ D1、Betacam、Digital Betacam、MPEG IMX
画像圧縮作業を行わない非圧縮の設定です。ハードディスクの容量を消費しますが圧縮処理を行わないので CPU リソースをほとんど消費しません。ただしハードディスクの性能がリアルタイム性能と比例します。リアルタイム性能を向上させたい場合は Canopus HQ コーデックの利用をおすすめします。また、RAID などの高性能ハードディスクを使えば、リアルタイム再生の限界を上げることが可能です。ビットレートは一定で約 168 Mbps となります。

## Canopus Lossless

• SD のみ対応
• 推奨入力デッキ D1、Betacam、Digital Betacam、MPEG IMX
可逆圧縮型のコーデックです。非圧縮と同じ映像になります。非圧縮より CPU リソースを消費しますが、データ量が少ないためハードディスクのデータ入出力が少なくなります。素材によってはエンコード、デコード作業に CPU リソースを消費し、リアルタイム性能が低下することがあります。設定項目はありません。可逆圧縮型なので映像素材によりビットレートが変化します。最大のビットレートは SD 非圧縮と同じ約 168 Mbps となります。

## Canopus DV

• SD のみ対応
• 推奨入力デッキ DV ／ DVCAM
DV コーデック形式の圧縮方式です。Canopus DV コーデックは高圧縮かつ高速エンコード、デコードが可能なためリアルタイム性能が高いです。ビットレートは一定で 25 Mbps となります。

## 各コーデックと 1 時間あたりの必要ディスク容量

| フォーマット | インターフェース | 推奨コーデック | ビットレート 概算（Mbps） | 必要ディスク容量 概算（GB/hour） |
|---|---|---|---|---|
| DV | IEEE1394 | Canopus DV | 25 | 14[*3] |
| DVCAM | IEEE1394 | Canopus DV | 25 | 14[*3] |
| DVCPRO 25 | – | – | 25 | 14[*3] |
| DVCPRO 50 | IEEE1394 | DVCPRO50 | 50 | 28[*4] |
| Betacam | アナログ コンポーネント | Canopus Lossless | VBR（映像により変化） | – |
| | | Uncompressed D1 | 168 | 77[*3] |
| | | Canopus HQ | VBR [*1]（映像により変化） | 24[*1]、[*3] |
| Digital Betacam | SDI | Canopus Lossless | VBR（映像により変化） | – |
| | | Uncompressed D1 | 168 | 77[*4] |
| | | Canopus HQ | VBR [*1]（映像により変化） | 24[*1]、[*4] |
| HDV | IEEE1394 | Canopus HQ | VBR [*2]（映像により変化） | 102[*2]、[*3] |
| HDCAM | HD-SDI | Canopus HQ | VBR [*2]（映像により変化） | 102[*2]、[*4] |
| DVCPRO HD | HD-SDI/ IEEE1394 | DVCPRO HD | 100 | 55[*5] |

*1　Canopus HQ（720x486）オンライン（通常）画質
　　デフォルトモード理論最大ビット値における数値 = 50.4 Mbps
*2　Canopus HQ（1440x1080）オンライン（通常）画質
　　デフォルトモード理論最大ビット値における数値 = 225 Mbps
*3　オーディオビットレート 48kHz/16bit/2ch
*4　オーディオビットレート 48kHz/16bit/4ch
*5　オーディオビットレート 48kHz/16bit/8ch
　　* DVCPRO 25 は IEEE1394 ストリームとして取り扱いはできません。

# 3 入出力フォーマット一覧

## 編集プロファイル

### Generic OHCI SD NTSC

| プリセット | コーデック | 用途 | 備考 |
|---|---|---|---|
| DVCPRO50 59.94i 4:3 | DVCPRO50 | DVCPRO 50 | ※ 1 |
| DVCPRO50 59.94i 16:9 | | DVCPRO 50 | ※ 1 |
| DV 59.94i 4:3, 48kHz | Canopus DV | | |
| DV 59.94i 4:3, 44.1kHz | | | |
| DV 59.94i 4:3, 32kHz 2ch | | | |
| DV 59.94i 4:3, 32kHz 4ch | | | |
| DV 59.94i 16:9, 48kHz | | AG-DVX100 等 | |
| DV 59.94i 16:9, 44.1kHz | | AG-DVX100 等 | |
| DV 59.94i 16:9, 32kHz 2ch | | AG-DVX100 等 | |
| DV 59.94i 16:9, 32kHz 4ch | | AG-DVX100 等 | |
| DV 29.97p over 59.94i 4:3, 48kHz | | AG-DVX100 等 | |
| DV 29.97p over 59.94i 16:9, 48kHz | | AG-DVX100 等 | |
| HDV 480/59.94p 16:9 | Canopus HQ | HDV(JVC) | |

**ご注意**
- 用途に記載されているモデル名は一例です。

※1：CODEC Option 使用時

## Generic OHCI SD PAL

| プリセット | コーデック | 用途 | 備考 |
|---|---|---|---|
| DVCPRO50 50i 4:3 | DVCPRO50 | DVCPRO 50 | ※1 |
| DVCPRO50 50i 16:9 | | DVCPRO 50 | ※1 |
| DV 50i 4:3, 48kHz | Canopus DV | | |
| DV 50i 4:3, 44.1kHz | | | |
| DV 50i 4:3, 32kHz 2ch | | | |
| DV 50i 4:3, 32kHz 4ch | | | |
| DV 50i 16:9, 48kHz | | | |
| DV 50i 16:9, 44.1kHz | | | |
| DV 50i 16:9, 32kHz 2ch | | | |
| DV 50i 16:9, 32kHz 4ch | | | |
| DV 25p over 50i 4:3, 48kHz | | AG-DVX100等 | |
| DV 25p over 50i 16:9, 48kHz | | AG-DVX100等 | |
| HDV 576/50p 4:3 | Canopus HQ | HDV(JVC) | |
| HDV 576/50p 16:9 | | HDV(JVC) | |
| HDV 576/25p 16:9 | | HDV(JVC) | |

## Generic OHCI SD 24Hz

| プリセット | コーデック | 用途 | 備考 |
|---|---|---|---|
| DV 23.98p over 59.94i 4:3, 48kHz | Canopus DV | AG-DVX100等 | |
| DV 23.98p over 59.94i 16:9, 48kHz | | AG-DVX100等 | |
| DV 23.98pA over 59.94i 4:3, 48kHz | | AG-DVX100等 | |
| DV 23.98pA over 59.94i 16:9, 48kHz | | AG-DVX100等 | |

## Generic OHCI HD 60Hz

| プリセット | コーデック | 用途 | 備考 |
|---|---|---|---|
| Full HD 1080/59.94i | Canopus HQ | | |
| HDCAM/HDV 1080/59.94i | | HDV(Sony/Canon) | |
| HDV 1080/29.97p | | HDV(Canon) | |
| HDV 720/29.97p | | HDV(JVC) | |
| DVCPRO HD 1080/59.94i | DVCPRO HD | | ※1 |
| DVCPRO HD 1080/29.97p over 59.94i | | | ※3 |
| DVCPRO HD 720/59.94p | | | ※2 or 3 |
| DVCPRO HD 720/29.97p over 59.94p | | | ※2 or 3 |

**ご注意**

- 用途に記載されているモデル名は一例です。

※1：CODEC Option 使用時
※2：CODEC Option + Varicam Option 使用時
※3：CODEC Option + P2 Option 使用時

## Generic OHCI HD 50Hz

| プリセット | コーデック | 用途 | 備考 |
|---|---|---|---|
| Full HD 1080/50i | Canopus HQ | | |
| HDCAM/HDV 1080/50i | | HDV(Sony/Canon) | |
| HDV 1080/25p | | HDV(Canon) | |
| HDV 720/25p | | HDV(JVC) | |
| DVCPRO HD 1080/50i | DVCPRO HD | | ※1 |
| DVCPRO HD 1080/25p over 50i | | | ※3 |
| DVCPRO HD 720/50p | | | ※2 or 3 |
| DVCPRO HD 720/25p over 50p | | | ※2 or 3 |
| DVCPRO HD 720/50p over 60p | | | ※2 or 3 |
| DVCPRO HD 720/25p over 60p | | | ※2 or 3 |

## Generic OHCI HD 24Hz

| プリセット | コーデック | 用途 | 備考 |
|---|---|---|---|
| HDV 1080/23.98p | Canopus HQ | HDV(Canon) | |
| HDV 720/23.98p | | HDV(JVC) | |
| DVCPRO HD 1080/23.98p over 59.94i | DVCPRO HD | | ※3 |
| DVCPRO HD 1080/23.98pA over 59.94i | | | ※3 |
| DVCPRO HD 720/23.98p over 59.94p | | | ※2 or 3 |
| DVCPRO HD 720/24p over 60p | | | ※2 or 3 |

## SHX-E1 SD NTSC

| プリセット | コーデック | 用途 | 備考 |
|---|---|---|---|
| D1 59.94i 4:3 | 非圧縮（YUY2） | | |
| D1 59.94i 16:9 | | | |
| DV 59.94i 4:3 | Canopus DV | | |
| DV 59.94i 16:9 | | | |
| DV 29.97p over 59.94i 4:3 | | AG-DVX100 等 | |
| DV 29.97p over 59.94i 16:9 | | AG-DVX100 等 | |

**ご注意**
- 用途に記載されているモデル名は一例です。

※1：CODEC Option 使用時
※2：CODEC Option + Varicam Option 使用時
※3：CODEC Option + P2 Option 使用時

SUMMARY
CHAPTER 1
CHAPTER 2
CHAPTER 3
CHAPTER 4
CHAPTER 5
APPENDIX

## SHX-E1 SD PAL

| プリセット | コーデック | 用途 | 備考 |
|---|---|---|---|
| D1 50i 4:3 | 非圧縮（YUY2） | | |
| D1 50i 16:9 | | | |
| DV 50i 4:3 | Canopus DV | | |
| DV 50i 16:9 | | | |
| DV 25p over 50i 4:3 | | AG-DVX100 等 | |
| DV 25p over 50i 16:9 | | AG-DVX100 等 | |

## SHX-E1 SD 24Hz

| プリセット | コーデック | 用途 | 備考 |
|---|---|---|---|
| DV 23.98p over 59.94i 4:3 | Canopus DV | AG-DVX100 等 | |
| DV 23.98p over 59.94i 16:9 | | AG-DVX100 等 | |
| DV 23.98pA over 59.94i 4:3 | | AG-DVX100 等 | |
| DV 23.98pA over 59.94i 16:9 | | AG-DVX100 等 | |

## SHX-E1 HD 60Hz

| プリセット | コーデック | 用途 | 備考 |
|---|---|---|---|
| Full HD 1080/59.94i | Canopus HQ | | |
| Full HD/HDV 720/59.94pi | | | |
| Full HD/HDV 720/29.97p over 59.94p | | | |
| HDCAM/HDV 1080/59.94i | | | |
| HDV 1080/29.97p over 59.94i | | | |
| DVCPRO HD 1080/59.94i | DVCPRO HD | | |
| DVCPRO HD 1080/29.97p over 59.94i | | | |
| DVCPRO HD 720/59.94p | | | |
| DVCPRO HD 720/29.97p over 59.94p | | | |

**ご注意**
- 用途に記載されているモデル名は一例です。

## SHX-E1 HD 50Hz

| プリセット | コーデック | 用途 | 備考 |
|---|---|---|---|
| Full HD 1080/50i | Canopus HQ | | |
| Full HD/HDV 720/50p | | | |
| Full HD/HDV 720/25p over 50p | | | |
| HDCAM/DVCPRO HD/HDV 1080/50i | | | |
| DVCPRO HD/HDV 1080/25p over 50i | DVCPRO HD | | |
| DVCPRO HD 720/50p | | | |
| DVCPRO HD 720/25p over 50p | | | |

## SHX-E1 HD 24Hz

| プリセット | コーデック | 用途 | 備考 |
|---|---|---|---|
| Full HD/HDV 720/23.98p over 59.94p | Canopus HQ | | |
| HDV 1080/23.98p over 59.94i | | | |
| DVCPRO HD 1080/23.98p over 59.94i | DVCPRO HD | | |
| DVCPRO HD 720/23.98p over 59.94p | | | |

# 入力デバイス

## Generic OHCI Input

| プリセット | コーデック | 用途 | 備考 |
|---|---|---|---|
| DV 59.94i | Canopus DV | | |
| DV 50i | Canopus DV | | |
| DVCPRO HD 1080/59.94i | DVCPRO HD | DVCPRO HD | ※ 1 |
| DVCPRO50 59.94i | DVCPRO50 | DVCPRO50 | ※ 1 |
| DVCPRO HD 1080/50i | DVCPRO HD | DVCPRO HD | ※ 1 |
| DVCPRO50 50i | DVCPRO50 | DVCPRO50 | ※ 1 |

## Generic HDV Input

| プリセット | コーデック | 用途 | 備考 |
|---|---|---|---|
| Canopus HQ 1080/59.94i | Canopus HQ | HDV (Sony / Canon) | |
| Canopus HQ 1080/50i | | | |
| Canopus HQ 1080/29.97p | | HDV（Canon） | |
| Canopus HQ 1080/23.98p over 59.94i | | | |
| Canopus HQ  1080/23.98pA over 59.94i | | | |
| Canopus HQ 1080/25p | | | |
| Canopus HQ 720/29.97p | | HDV（JVC） | |
| Canopus HQ 720/23.98p over 59.94p | | | |
| Canopus HQ 720/25p | | | |
| Canopus HQ 480/59.94p | | | |
| Canopus HQ 576/25p | | | |
| Canopus HQ 576/50p | | | |
| MPEG TS 1080/59.94i | — | HDV (Sony / Canon) | ※ 2 |
| MPEG TS 1080/50i | | | ※ 2 |
| MPEG TS 720/29.97p | | HDV（JVC） | ※ 2 |
| MPEG TS 720/23.98p over 59.94p | | | ※ 2 |
| MPEG TS 720/25p | | | ※ 2 |

**ご注意**

※1：CODEC Option 使用時

※2：HDV ネイティブの MPEG TS 形式のまま取り込みを行います。

- 用途に記載されているモデル名は一例です。

## SHX-E1 Composite、S、Component

| プリセット | コーデック | 用途 | 備考 |
|---|---|---|---|
| D1(Uncompressed) 50i 4:3 | 非圧縮（YUY2） | | |
| D1(Uncompressed) 50i 16:9 | | | |
| D1(Uncompressed) 59.94i 4:3 | | | |
| D1(Uncompressed) 59.94i 16:9 | | | |
| DV 50i 4:3 | Canopus DV | | |
| DV 50i 16:9 | | | |
| DV 59.94i 4:3 | | | |
| DV 59.94i 16:9 | | | |
| Canopus HQ 50i 4:3 | Canopus HQ | | |
| Canopus HQ 50i 16:9 | | | |
| Canopus HQ 59.94i 4:3 | | | |
| Canopus HQ 59.94i 16:9 | | | |
| Canopus Lossless 50i 4:3 | Canopus Lossless | | |
| Canopus Lossless 50i 16:9 | | | |
| Canopus Lossless 59.94i 4:3 | | | |
| Canopus Lossless 59.94i 16:9 | | | |

## SHX-E1 DV

| プリセット | コーデック | 用途 | 備考 |
|---|---|---|---|
| DV 50i | Canopus DV | | |
| DV 59.94i | | | |